

2019.4.27(SAT)

14:00 START

大田区民ホール

アプリコ 大ホール

大田区 後援



Aprico Symphony Orchestra

190427

31ST REGULAR CONCERT

Aprico Symphony Orchestra

アプリコシンフォニーオーケストラ

歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」
〈チャイコフスキー〉

Pyotr Ilyich Tchaikovsky (1840 - 1893)
Polonaise from Eugene Onegin, Op.24

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調
〈チャイコフスキー〉

Pyotr Ilyich Tchaikovsky (1840 - 1893)
Piano Concerto No.1 in B flat minor, Op.23

第一楽章

Allegro non troppo e molto maestoso - Allegro con spirito

第二楽章

Andantino semplice - Prestissimo - Quasi andante

第三楽章

Allegro con fuoco

～休憩20分～

交響曲第10番 ホ短調
〈ショスタコーヴィチ〉

Dmitri Dmitrievich Shostakovich (1906 - 1975)
Symphony No.10 in E minor, Op.93

第一楽章

Moderato

第二楽章

Allegro

第三楽章

Allegretto

第四楽章

Andante - Allegro

本日はアプリコシンフォニーオーケストラの演奏会にご来場頂き誠にありがとうございます。

今回の演奏会は季節が冬から春へと変化する中に練習を行い、本日は平成から令和へと時代が変わろうとしている中に開催する縁となりました。令和の出典は万葉集の梅花の歌三十二首とのことですが、私達の楽団名アプリコは大田区の花、ウメにちなんでおり親近感を覚えます。

皆様の平成はどのような時代だったのでしょうか。私達にとっての平成はとても変化に溢れた時代でした。楽団を結成し、多くのメンバーは学生から社会人になりました。結婚し家庭を持った人もいます。生活の変化によりオーケストラ活動から離れたメンバーもいます。それに伴い多少なりとも活動にも変化がありました。

ですが、変わらないものもあります。このオーケストラに集い、皆様と音楽を分かち合いたいという想いです。これからもこの想いを胸に、皆様と共にあり続けられるよう変化を続けていく所存です。

さて、本日の演奏会では二人のロシア作曲家の曲を取り上げています。皆様が一度は耳にしたことのある曲、作曲家の熱意がこもった曲で構成されています。それぞれの詳細は曲目解説に譲りますので、ぜひご一読いただき、内容を思い浮かべながら最後までごゆっくりお楽しみください。

アプリコシンフォニーオーケストラ
 団長 市川宗貴

大田区民ホール「アプリコ」の開館記念イベントとして1999年、2000年に開催された「大学オーケストラフェスティバル」。その参加者が中心となり、2001年に設立されたのがアプリコシンフォニーオーケストラです。

設立以来、定期演奏会をはじめ、小学校の音楽観賞会や、公益財団法人大田区文化振興協会主催の「オーケストラワークショップ」における小中高生への指導など、大田区およびその周辺地域での活動を展開して参りました。また、菊地知也氏（チェロ）、関山幸弘氏（トランペット）、後藤悠仁氏（ヴィオラ）をはじめ、第一線の演奏家との共演や、ドイツでのベートーヴェン「第九」演奏、現代舞踊「エーデルワイスのうた」公演（平多舞踊研究所）におけるオーケストラピットなど、意欲的な取り組みを積み重ねています。

楽団員は、30代を中心に、会社員をはじめとするさまざまな職業・ライフステージにありながら、オーケストラをこよなく愛する一般市民。音楽を通じた巡り会い、地域とのご縁を大切にしながら活動しています。



当団ホームページ

田部井 剛

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。

これまでに指揮法を遠藤雅古、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、藤田雅の諸氏に師事。

沖縄国際音楽祭出演。東京芸大在学中にはレハールのオペレッタ「メリーウィドウ」を全曲指揮。

1999年には日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮（日本初演）。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2001年第1回ロリンマゼール国際指揮者コンクールに参加、「アジアの優秀な若手10人」にノミネートされた。同年、「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いづみこ著「ピアニストがみたピアニスト」〈Pianistes vus par pianiste〉（白水社刊）では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。最近では室内合奏団「カメラータ・ジオン」(Camerata Jion)を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。

2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。そのライブ録音が仏アンテグラル社(Integral Classics France INT 221.156)よりリリースされている。また、永井和子、佐々木典子、カテリーナショット、宗次郎、クミコ、岡本知高、江戸家子猫などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。

オペラの分野においては、團伊玖磨『ちゃんちき』、モーツァルト『フィガロの結婚』、『魔笛』など指揮し、高い評価を得た。

このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京佼成ウインドオーケストラ等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング、そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている(STUDIO FLORA B-2704)。

2010年には日本フィルハーモニー交響楽団にて文化庁主催公演（計9公演）を指揮した。2012年より桐蔭学園「第九の会」音楽監督を務める。2013年には伝説のチェリストと謳われる、クリスティーン・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、カメラータジオンを指揮、氏より「偉大な才能」と高く評価された。

また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル(Fritz Dolezal)、上村昇、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏と共演している。2009年にはコントラバス奏者、白土文雄のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノログ」がリリースされた(HCC 2049)。2012年にはドビュッシー生誕150周年に際し、浜離宮朝日ホールにて行われた、文学キャバレ「黒猫」とその仲間たち、また、カワイコンサートサロン「パウゼ」にて行われたドビュッシーフェスティバル2012に出演、青柳いづみこ氏と連弾曲を演奏、好評を博した。2013年には再び白土文雄とのデュオアルバム“Basso d'Amore”をOpus55よりリリースし稀有な室内楽奏者としての高い評価がなされている。(OPFF-10019)

2009年上毛芸術文化賞受賞。



伊藤 亜純

1991年 横浜市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

同大学大学院音楽研究科修士課程修了。修了時にはピアノ演奏優秀者によるジョイントリサイタル（カワイパウゼ表参道）に選出される。2014年よりザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学に留学。ジャック・ルヴィエ氏のもと研鑽を積む。同大学院修士課程ソリストコースを満場一致の首席修了。その後、ポストグラデュエート課程修了。ミラベル宮殿教会にてリサイタル多数出演。

かながわ音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール東京大会、ショパンコンクール in Asia、鎌倉音楽コンクール等上位入賞。浜松国際ピアノアカデミー、メンデルスゾーン国際ピアノアカデミー、ホーランドミュージックセッション参加。また、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、横浜シンフォニックアンサンブル、関東学院大学学生オーケストラ、日立フィルハーモニー管弦楽団、アウローラ管弦楽団等数多くのオーケストラと『シューマン・ピアノ協奏曲』『ラフマニノフ・パガニーニの主題による狂詩曲』『ショパン・ピアノ協奏曲第1番』『チャイコフスキー・ピアノ協奏曲第1番』『ラヴェル・ピアノ協奏曲』『ペトルーシュカ』を共演。これまでに日比谷友妃子、東誠三各氏に師事。



しずかにきこうね



小さなお子様をお連れのお客様へ
もし、お子様が演奏に飽きてしまったら…
ロビーのテレビでも会場内の演奏を上映しております。
ぜひご利用ください。

曲目解説

歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」

チャイコフスキー

「エフゲニー・オネーギン」はロシアの詩人アレクサンドル・プーシキン(1799 - 1837)原作の韻文小説をオペラ化した作品です。

物語のあらすじは以下の通り。

ロシアの農村の女地主ラーリナには姉のタチアーナと妹のオリガという二人の娘がいました。ある日オリガの婚約者レンスキーが友人エフゲニー・オネーギンを連れてきます。タチアーナはオネーギンに一目惚れして文をしたためますがオネーギンは「自分は家庭を持つような人間じゃない」とこれを断ります。

数か月後、レンスキーはタチアーナのために開かれた宴にオネーギンを誘いますが、オネーギンには退屈な時間になりました。オネーギンは退屈な宴に誘ったレンスキーへの嫌がらせのためにオリガをダンスパートナーに指名します。これに怒ったレンスキーはオネーギンに決闘を申し込み、レンスキーが敗れます(補足: 当時はロシア貴族の間で決闘が流行しており、道端で肩がぶつかったレベルの諍いで銃や剣による決闘が行われていたそうです)。

親友であるレンスキーを殺してしまった後悔からオネーギンは旅に出ます。その間にタチアーナはグレーミン公爵という貴族に嫁いでおり、その美貌から社交界で活躍していました。

数年後、旅から戻ったオネーギンはとある貴族の催す舞踏会に出席し、偶然居合わせたタチアーナに再会します。美しく成長したタチアーナに心惹かれ恋文を送るオネーギンですが、タチアーナはこれを拒絶。打ちひしがれたオネーギンを残して舞台は幕を閉じます。

今回演奏する「ポロネーズ」は第3幕冒頭の舞踏会の場面で演奏される華々しい曲です。放浪の旅でも晴れることのなかったオネーギンの心と、19世紀ロシア貴族による華麗な世界を感じていただければ幸いです。

(Vla 武藤)

ピアノ協奏曲第1番変ロ短調

チャイコフスキー

通称や副題がないため一瞬戸惑いますが、最初だけで「あ、これか」となるチャイコフスキーの代表作です。当初は師であり友人でもあったニコライ・ルビンシテインに献呈するために書かれましたが、ルビンシテインに「まったく使い物にならないが、私の言うとおりに書き直せば演奏してもよい」などと徹底的にこき下ろされたそうです。これに対してチャイコフスキーは「一音たりとも変えない」と宣言し、実際その通りに楽譜は書き直さずに仕上げます。完成した楽譜はドイツ人ピアニストのハンス・フォン・ビューローに献呈され、1875年にアメリカで初演されます。

どんな心変わりがあったのか、後にルビンシテインはこの曲の評価を改め、モスクワでの初演の際には指揮を、その後の演奏でも独奏を務め、本作品の普及に貢献しています。

なお、初演ではそのままの形で演奏されましたが、その後二度にわたって改訂されており、今日私たちが耳にしているのはこの改訂版です。

<第一楽章>

第一楽章はこの曲の中で最も演奏時間が長く、全体のおよそ3分の2を占めています。

荘厳で力強いホルンの下降するモチーフで幕を開けます。この後に出てくる非常に印象的なメロディーは序奏部分が終わると二度と登場しませんが、その代わり少し形を変えながら繰り返されます。最初はヴァイオリンとチェロによるメロディーにピアノの力強い和音が重なります。続いてピアノを主体としたメロディーに移り、最後は弦楽器とピアノの協奏により序奏部はクライマックスを迎えます。この後ホルン、トランペット、トロンボーンの和音により序奏部は静かに終わりを迎えます。

提示部ではおどけたようなリズムの第一主題、哀愁漂う第二主題、明るく優しい第三主題が提示されます。

展開部ではオーケストラが第一主題と第二主題を織り交ぜながらエネルギーを高めていき、最高潮に達したところでピアノのカデンツァへと至ります。

この後再現部とピアノ独奏を経て再びクライマックスを迎え、華やかに終結へと至ります。

<第二楽章>

力強く荘厳な第1楽章とは打って変わって、フルートによる抒情的で穏やかなメロディーを奏で、弦楽器のピッツィカートがこれに寄り添います。この後ピアノが加わりメロディーがより暖かく広がります。

中間部でヴァイオリンとチェロから始まる陽気な雰囲気のある曲はフランスの古いシャンソンをもとに書かれたといわれています。

<第三楽章>

ウクライナ民謡による農民の春の喜びを表現した第一主題と、美しく穏やかなメロディが印象的な第二主題が登場します。

壮大な盛り上がりを見せた後は、華やかな音楽が最後まで続き絶頂の中作品はフィナーレを迎えます。

(Vla 武藤)

曲目解説

交響曲第10番ホ短調

ショスタコーヴィチ

ショスタコーヴィチ(1906-1975)は旧ソヴィエト時代を生き抜いた近代ロシア音楽を代表する作曲家である。レニングラード音楽院を卒業した1925年に彼は交響曲第1番を発表したが、その後の作曲活動はソヴィエトの政治体制に大きく翻弄されることとなった。ソヴィエトはレーニン(1870-1924)の死後、共産党書記長だったスターリン(1878-1953)の提唱する一国社会主義政策の下で独裁体制へと移行していった。同時に全ての文学・芸術もソヴィエト共産党の監視下に置かれ、その描写は社会主義の思想と結び付いていることが要求されたのである。この状況でショスタコーヴィチは自身の創作活動を継続するため、いわゆる「二枚舌」を駆使するようになったと言われている。すなわち、表向きは社会主義の勝利を謳いつつ、裏に負の現実など様々な仕掛けを差し挟んだとも解釈しうる作風である。

1953年3月、スターリンの訃報が伝えられた。スターリンの死によりソヴィエト共産党の独裁体制が終了するわけではないが、それでもスターリンによる抑圧からの解放に対する期待と不安、戸惑いが社会全体に静かに広がっていったことは想像に難くない。このような空気の中、交響曲第10番は同年の夏から秋にかけて集中的に書かれた。この交響曲に政治的意味合いが込められているか否かについては様々な解釈がある。ショスタコーヴィチ自身はこの曲について「人間の感情と情熱を伝えたかった」とだけ述べている。

<第一楽章>

演奏時間で曲全体の半分近くをしめる長大な楽章である。低弦を中心とした弦楽の不機嫌なつぶやきから曲は始まる。弦楽が厳かさをはらみつつ進行すると、クラリネットによる孤独な気分を満たした第一主題が提示される。この第一主題はバイオリンに引き継がれ音量を増していくが、やがて再びクラリネットの手に戻り寂しく消えると、フルートによりやや明るく動きのある第二主題が奏される。第二主題もバイオリンに引き継がれ幾度かの再現を経て、ついにクライマックス「怒りの日のモチーフ」へとどり着く。劇的な衝突はやがてクラリネットにより鎮静化され、管楽器によるコラールを経てピッコロの諦観にも似た弱い輝きにより終結を迎える。

<第二楽章>

わずか4分あまりの短い音楽だが、圧倒的な凶暴性と厳格な規律性を持ち、疾風のようなスピードで一気に駆け抜けていく。冒頭は短い序奏に続き、主題がやや慎重に提示される。その後徐々に楽器を増やしながら鋭さを増し、興奮状態に達する。執拗に繰り返されるDs-Es-Eの脅迫的な音型をスターリンのモチーフとする説もあるが、いずれにせよ独裁政権の頂点に立ったスターリンを表現した楽章だと考えられている。

<第三楽章>

牧歌的な雰囲気と神話的な構成を持った曲であるが、ここでは曲に刻み込まれた2つのイニシャルに触れなければならない。D-S(Es)-C-H(レーミードーシ)のモチーフはショスタコーヴィチの名前から取られ彼自身を表している。このモチーフはフルートとオーボエで奏でられる第二主題に何気ない形で登場するが、第三楽章の後半および第四楽章で強奏され、非常に重要な意味合いを持つことになる。さらに近年の研究でE-A-E-D-A(ミラミレーラ)のモチーフがショスタコーヴィチの教え子である女性作曲家エリミラ ナジーロワに由来していることが明らかにされた。このモチーフは第三楽章において何度も登場するが、ホルンのみが演奏を許されている。

<第四楽章>

序奏部は様々なニュアンスの主題が提示される。何かを語ろうとして、その糸口を模索しているかのようである。その糸口はクラリネットの軽快な動きによって導き出され、バイオリンによるどこかひょうきんな第一主題へと移行する。第一主題がフルート族に引き継がれると、すぐに第二主題がバイオリンにより奏される。この二つの主題が絡み合って発展し狂騒状態になっていくが、その最高潮でD-Es-C-Hの音型が雷鳴のようにとどろく。再現部を経て再び高揚し、狂騒または歓喜の中で曲は終結する。

この交響曲が発表されると、その政治的意味合いと評価について議論が戦わされた。しかし彼らは、曲にイニシャルが組み込まれていることは見抜けなかった。結局議論はショスタコーヴィチに有利な結果で終わった。前述のとおり彼はこの曲について「人間の感情と情熱を伝えたかった」と述べているが、交響曲第10番は自由な表現への解放と歓喜を謳ったものではないだろうか。

以下の皆様より、前回演奏会にてご賛助を賜りました。誠にありがとうございます。

向井 恵子 様	佐藤 正知 様	田中 道子 様	矢澤 雄一 様
辻 宏治 様	三平 邦男 様	荒井 俊秀 様	加谷 佳代子 様
田中 幸二郎 様	山崎 良一 様	山崎 哲 様	林 幸子 様
川手 芳恵 様 (順不同)			

匿名希望の方 14名

賛助会ご入会のお願い

私どもアプリコシンフォニーオーケストラは大田区を拠点として、クラシック音楽文化の振興を目的として活動するアマチュアオーケストラです。私どもでは、活動内容にご賛同いただける方からのご賛助を募集しております。皆様からのご賛助は、活動に必要な楽器・楽譜等の購入や、活動の運営にあてさせていただきます。

皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

団員一同

<会員の種類と会費>

S 会員 10,000 円 A 会員 5,000 円 B 会員 2,000 円

<特典>

♪ 全会員共通

① ご入会后、直近2回の定期演奏会にてご優待席をご用意致します。

S 会員 : 1 演奏会につき5 席まで

A 会員 : 1 演奏会につき3 席まで

B 会員 : 1 演奏会につき2 席まで

② 定期演奏会パンフレットへご芳名を掲載させていただきます。

※掲載の可否は入会の際にお伺い致します。

♪ S, A 会員のみ

③ 演奏会当日にご利用頂けるビュッフェドリンク引換券をお申込み席数分お送り致します。

④ 会報をお送り致します(演奏会のご案内に同封(予定))。

⑤ 公開練習日に練習をご見学頂けます。

<入会時期>

随時受け付けております。

<入会方法>

① 定期演奏会当日、ロビーの受付にてお申し込み下さい。

② 下記問い合わせ先まで、お申し込み用紙のご請求をお願い致します。

お申し込み用紙と振り込み用紙をお送り致します。

<お問い合わせ (事務局) >

Tel : 090-6502-4995 (佐藤)

恐れ入りますが、留守番電話につながった際は、お名前とお電話番号をお残し下さい。

折り返しお電話させていただきます。

E-mail : apriweb@yahoo.co.jp

アプリコシンフォニーオーケストラ

団員・出演者

ヴァイオリン

1st
 首席 増岡 希実子
 河崎 祐輔
 佐々木 愛子
 宮澤 沙也加
 稲森 尚史
 加藤 尚志
 佐藤 舞
 杉山 隆太
 中山 宜大
 深見 夏輝
 渡辺 知子

2nd
 首席 大矢 愛子
 大石 晟子
 小川 央
 木全 脩
 田中 淑恵
 大淵 直子
 大矢 敏弘
 舞谷 正太郎

ヴィオラ

首席 久田 桂
 吹田 由紀子
 中曾根 恵子
 平能 修
 武藤 剛
 渡邊 久高
 関 恒洋
 徳竹 美穂

チェロ

首席 栗野 克也
 千葉 政寿
 関島 薫
 森 敦
 太田 寛樹
 中井 宏一

コントラバス

首席 藤本 宏行
 大津 慎吾
 加藤 里奈
 小室 公太
 瀧澤 明子
 北條 愛
 堀川 玄祐

フルート

首席 市川 妙子
 永田 由香利
 藤崎 修一
 本多 春葉

オーボエ

首席 斎藤 篤
 奥山 祐美子
 平出 美穂

クラリネット

首席 鮎川 哲也
 吉永 久生
 日野 浩二

ファゴット

首席 富田 雅樹
 青木 智彦
 高橋 健

ホルン

大坂 裕美子
 佐藤 富裕美
 佐藤 優香
 戸田 陽子
 野間口 美月
 水上 慶人
 山本 浩嗣

トランペット

首席 横川 博司
 市川 宗貴
 島田 裕子
 石田 陽平

トロンボーン

首席 星野 佑太
 鴨川 友輔
 栗原 由里子

チューバ

由利 敦

パーカッション

首席 村田 絢子
 加治 美紗子
 乙部 暢宏
 神田 拓哉
 槇 郁風

役員・スタッフ

団長
 副団長
 会計
 コンサートミストレス
 インспекター
 ステージマネージャー
 コンサートマネージャー
 ロビーマネージャー

市川 宗貴
 久田 桂
 田中 淑恵
 増岡 希実子
 横川 博司
 小林 俊夫
 佐々木 愛子
 島田 裕子
 石川 智己
 則井 晃
 飯沢 美樹

ご指導いただいた先生方

野澤 健太郎 (ヴァイオリン奏者)
 後藤 悠仁 (ヴィオラ奏者)
 藤本 宏行 (コントラバス奏者)
 松岡 裕雅 (オーボエ奏者)
 宮崎 寿理 (ファゴット奏者)
 山田 裕治 (トロンボーン奏者)
 秋場 一宏 (パーカッション奏者)

次回演奏会のご案内

2019年12月22日(日)

14:00開演

大田区民ホール アプリコ 大ホール

指揮:田部井剛

曲目:バレエ音楽「火の鳥」(1945年版)ほか

詳細は、ホームページ・Facebook等でご案内いたします。

♪♪「アプリコシンフォニー」で検索♪♪

団員募集

◇対象楽器:

ヴァイオリン、チェロ、コントラバス。いずれも若干名。

詳細は当団ホームページをご覧ください。

団員募集問い合わせ専用Mail: aprico.boshu@gmail.com



Aprico Symphony Orchestra

アンケートご記入のお願い

本日はお忙しい中、当団の演奏会にご来場くださりましてまことにありがとうございました。
今後の団活動発展のために、アンケートご記入にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 本日の演奏会をどのようにお知りになりましたか？（複数ご回答いただけます）

- イ) 団員から (パート: 名前:) へ) Artmenu
 ロ) 施設配架のチラシ (施設名:) ト) 当団ホームページ
 ハ) 他演奏会でのチラシ (演奏会名:) チ) ご案内ハガキ・招待状
 ニ) Web上の演奏会情報ページ (ページ名:) リ) その他 ()
 ホ) 大田区報

2. 過去に当団の演奏をお聴きになったことがありますか？ Yes (回数: 回) ・ No

3. 当団ホームページ (<http://asoweb.net/>) をご覧になったことがありますか？ Yes ・ No

4. 本日の演奏について率直なご感想をお聞かせください（裏面もご自由にお使いください）。

■チャイコフスキー／歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」 ご満足度: %

■チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番 ご満足度: %

■ショスタコーヴィチ／交響曲第10番 ご満足度: %

5. その他お気づきの点（選曲、パンフレット、チラシ、スタッフの対応など）がございましたらお書き添えください。 また団員へのメッセージなどもご自由にお書きください（裏面もご自由にお使いください）。

6. ご住所とお名前をご記入いただいたお客様に、次回演奏会の招待状を送付させていただきます。

ふりがな	
お名前	
ご住所	〒 —
e-mail	@

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に受付の アンケート回収箱 にお入れください。

※ご記入いただいた個人情報は当団からの演奏会のご案内のみに使用させていただきます。

第7回

ホルン のど自慢 大会

190427

入場無料(先着 250 名)

新しい時代の幕開けを祝う10名のアマチュアホルニストたち

●出演：梅本友里絵、大島賢治、鹿島航、工藤慎、佐々木一平、佐々木幸子、色田敦史、菅原匡子、法月裕、福地亜希●

●ゲストピアニスト：神永睦子●

●曲目：エワイゼン／ホルン協奏曲より、クック／ポリバル、グラスノフ／夢、
グリエール／ホルン協奏曲より、グリエール／ピアノとホルンの為の4つの小品、シュトラウス／夜想曲
シエック／ホルン協奏曲より、ロゼッティ／2本のホルンのための協奏曲より、他●

※曲順未定 ※出演者と曲目は予告なく変更となる場合があります ※親子室あり

令和元年5月1日(水)午後6時45分開場、午後7時開演

横浜市神奈川区民文化センター かなつくホール

(JR『東神奈川駅』下車徒歩1分、京浜急行『仲木戸駅』下車徒歩1分、東急東横線『東白楽駅』下車徒歩10分)

●問合せ● ホルンのど自慢大会事務局 電話 050-3707-9131

HERALD

ORCHESTRA

Puccini

プッチーニ 交響的前奏曲 イ長調

オーケストラハル 第18回定期演奏会

18th Regular Concert

Makler

マーラー 交響曲第1番

8/2019
24

13:30 開場 14:00 開演
杉並公会堂 大ホール

指揮 ● 石毛 保彦

オーケストラHAL 第17回定期演奏会

Orchestra HALは、「対話を重ねながら紡ぐ音楽(Harmony Achieved through Language)」をコンセプトとして2010年4月に産声をあげたオーケストラです。

第18回は、いよいよマーラーの交響曲に挑戦します。取り上げるのは第1番「巨人」。圧倒的な強奏と繊細でこの上なく美しい旋律に、マーラーの魅力は尽きません。

同時代を生きたプッチーニの交響的前奏曲を添えてお送りする真夏のマラ1、暑さに負けない熱さでお送りします。どうぞ杉並公会堂へ足をお運びください。

Orchestra HAL団長 内海 優

指揮:石毛 保彦

信州大学医学部卒業。医師として10数年一線で働いていたが、指揮者になる夢を棄てきれず、桐朋学園大学音楽学部に入学。指揮を黒岩英臣、秋山和慶、飯守泰次郎、高階正光、湯浅勇治(ウィーン国立音大)、バイオリンを徳永二男、大谷康子、山岡耕作、兎束龍夫の各氏に師事する。

桐朋学園大学卒業後、桐朋学園オーケストラアカデミー(指揮専攻)においてさらに研鑽を積む。在学中、学内オーディションにおいて最優秀の成績で選ばれ桐朋学園オーケストラを指揮、またチョン・ミョンファン氏指揮、桐朋学園オーケストラによる歌劇「カルメン」公演の副指揮者を務める。さらに韓国仁川で開かれた国際指揮ワークショップに参加、チョン・ミョンファン氏のマスターコースで薫陶を受ける。2006年にアフィニス音楽祭に指揮研究員として参加。2007年東京藝術大学音楽奏楽堂において藝大フィルハーモニア、江東区民合唱団によるベートーヴェン交響曲第9番公演を指揮。2008年には銀座歌舞伎座での70年ぶりのベートーヴェン第九公演を指揮し大成功に導く。その模様はNHKの朝のニュースでも報道され話題となる。同年夏、高知県四万十川国際音楽祭2008に招待され、ウィーンフィルコンサートマスター、ライナー・キュッヒル氏と共演。

現在、全国各地のオーケストラの指揮者として活躍している。

2010年より当団音楽監督。

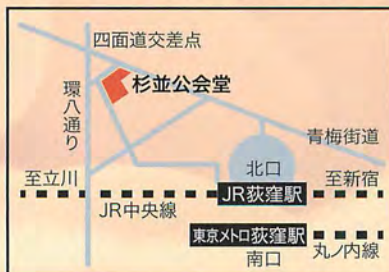


アクセス・お問い合わせ

杉並公会堂 大ホール

JR中央線・東京メトロ丸ノ内線荻窪駅北口徒歩7分

- メール info@hal.mu
- ウェブサイト https://hal.mu
- Facebook OrchHAL
- Twitter @OrchestraHAL



招待券

本状を演奏会にご持参頂きますとお連れ様もご入場いただけます。ただし、お席に限りのある場合があります。

名様

表面: 交響曲第1番を作曲したときにマーラーが音楽監督を務めていたハンガリー国立歌劇場



L.v. Beethoven

"Die Geschöpfe des Prometheus"
Ouvertüre, Op.43

L.v. ベートーヴェン
バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲 Op.43

J. Haydn

Sinfonie Nr.90 C-Dur,
Hob.I:90

J. ハイドン
交響曲第90番ハ長調 Hob.I:90

F. Schubert

Sinfonie Nr.6 C-Dur,
D589

F. シューベルト
交響曲第6番ハ長調 D589

Kokubunji Chamber Orchestra CONCERT

Conductor
Toru Sakamoto

2019.

4.28^{Sun}

KOGANEI MIYAJIGAKKI HALL
MAIN HALL 13:30OPEN/14:00START

小金井 宮地楽器ホール 大ホール
13:30 開場 / 14:00 開演

入場料	前 売	当 日
全席自由	800 円	1,000 円

○前売チケット取扱

小金井 宮地楽器ホールチケットデスク

※窓口販売のみ(10:00-19:00/休館日除く)

Tel.042-380-8099

TICKET PRESENT!

チケットプレゼント!

抽選で25組50名様を
ご招待いたします

お申込み方法
は裏面をご覧ください



国分寺チェンバー オーケストラ コンサート



http://www.geocities.jp/KCO_1995/

Facebook <http://www.facebook.com/kco1995/>

Twitter <http://twitter.com/KokubunjiCO>

2019年

4月28日(日)

13:30開場 / 14:00開演

小金井

宮地楽器ホール

大ホール

東京都小金井市本町 6-14-45

Tel: 042-380-8077(代表)

会場へのアクセス

- JR中央線「武蔵小金井駅」南口 駅前
- 小田急バス、関東バス、西武バス、
京王バス「武蔵小金井駅」下車

入場料

前売 800円 / 当日 1,000円
(全席自由)

○前売チケット取扱

小金井 宮地楽器ホールチケットデスク

※窓口販売のみ

(10:00-19:00 休館日除く)

Tel: 042-380-8099

お問い合わせ

Tel: 080-5050-8632(須田)

E-mail: kcoconcert@gmail.com

指揮：坂本 徹

L.v. ベートーヴェン

バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲 Op.43

L.v. Beethoven / "Die Geschöpfe des Prometheus" Ouverture, Op.43

J. ハイドン

交響曲第90番ハ長調 Hob.I:90

J. Haydn / Sinfonie Nr.90 C-Dur, Hob.I:90

F. シューベルト

交響曲第6番ハ長調 D589

F. Schubert / Sinfonie Nr.6 C-Dur, D589



TICKET PRESENT!

KCO

チケットプレゼント!

抽選で25組50名様をご招待いたします。

Web応募フォーム、往復はがきにてお申し込みください。

電話、メールでは受け付けていませんのでご了承ください。

締切：4月19日(金) はがきは当日消印有効

①Web応募フォーム：<https://goo.gl/K1Bjok>

②往復はがき：氏名・年齢・電話番号・チケット希望枚数(2枚まで)を明記
〒272-0822 市川市宮久保6-12-7 城山方 KCO「チケットプレゼント応募」係

◎演奏中に音を立てる・動きまわる等、客席での音楽鑑賞に差しさわる行為がある場合は退席をお願いすることがあります。

◎お子様の客席への入場は保護者の方より周囲へのご配慮をお願いいたします。

【国分寺チェンバーオーケストラ(KCO)】1995年春、「古典音楽の楽しさ」を追求すべく、美術大学出身者を中心に有志を募り結成。現在ではコンセプトに賛同したアマチュア演奏家が広く首都圏より集まる。古典音楽の造詣が深い坂本徹氏の指導のもと、古典音楽本来の響きを模索しながら、既成概念にとらわれない発想と解釈による斬新で大胆な演奏を目指している。主にモダン楽器を使用しているが、古楽奏法の豊かな語法を取り入れ、KCO独自の響きを作り出している。近年は古楽中心に多方面で活躍中の気鋭の演奏家をトレーナーに迎え、各パートの細部にわたって音楽を煮詰めていく練習を行っている。

今後の
公演の
ご案内

2019年10月26日(土) 14:00開演予定

J. ハイドン / 交響曲第26番二短調「ラメントチオーネ」Hob.I:26

L. ボッケリーニ / 交響曲二短調「悪魔の家」G.506

W.A. モーツァルト / 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 KV527

J.C. アリアーガ / 交響曲二短調

小金井 宮地楽器ホール 大ホール 指揮：坂本 徹

★国分寺チェンバーオーケストラでは
随時メンバーを募集しています。
25歳以下は参加費の割引があります。
活動内容や募集パートなど詳細は
KCOのウェブサイトをご参照ください。

横浜市立大学管弦楽団

Spring Concert 2019

C. サン＝サーンス
交響詩「死の舞踏」

A. ハチャトゥリアン
組曲「仮面舞踏会」

R. シューマン
交響曲第4番ニ短調

指揮 阿部未来

2019年 5月3日(金・祝)

13:20開場 14:00開演

大田区民ホール・アプリコ 大ホール

〈チケット〉全席自由
前売券500円 / 当日券1000円

- ・12:20よりチケット引き換え、当日券販売開始
- ・前売券は当団公式HP専用フォームよりご予約下さい
(<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ycuorch/>)
- ・学生入場無料 (要学生証提示)
- ・未就学児入場無料

〈お問い合わせ〉

横浜市立大学管弦楽団

TEL: 080-5184-2747

E-mail: ycuorch.451@gmail.com

当団公式HP



阿部 未来 Mirai Abe



秋田県生まれ。

2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻（ピアノ）卒業。

2009年東京音楽大学大学院科目等履修生作曲・指揮専攻（指揮）修了。

これまでにピアノを、前田英樹、杉山とみえ、ロナルド・カヴァイエの各氏に師事。また声楽を築地利三郎、小島聖史の各氏に、指揮を広上淳一、船橋洋介、三河正典、時任康文の各氏に師事する。2010年、アフィニス夏の音楽祭2010”山形”に指揮研究員として参加、飯森範親氏の薫陶を受ける。

その後2011年、ロータリー財団国際親善奨学生としてドイツ国立ドレスデン”カール・マリア・フォン・ウェーバー”音楽大学指揮科に留学。指揮をE.Klemm、S. Leissnerの各氏に師事。また、オペラコレペティションおよびオペラ指揮法を、F. Brochhagen、V. Borritsの各氏に師事。また、C. Kluttigの薫陶を受ける。

Landesbühnen Sachsenにて、コレペティトゥア及び指揮者として研修。また、Sorbisches National-Ensemble Bautzen、子供の為のオペラプロジェクト、E.フンパーティンク「ヘンゼルとグレーテル」にて、コレペティトゥアとしてゲスト契約。その後プレミア公演及び追加公演を指揮。

国内では、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団の自主公演を含む多数の公演を指揮。また山形交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、大阪交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、静岡交響楽団、オーケストラ・アンサンブル・金沢、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ等を指揮。

2019年は、広島交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団への客演が予定されている。

2015年4月より公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者。

横浜市立大学管弦楽団 Yokohama City University Orchestra

横浜市立大学金沢八景キャンパスを拠点として活動する学生オーケストラ。

1967年に発足した室内楽研究会を前身としており、当初のメンバーはわずか3名であった。その後、次第に規模を広げ、現在では横浜市立大学の学生のみならず他大学の学生も所属するオーケストラになっている。

春に行われるSpring Concert、冬に行われる定期演奏会を中心に、地域への依頼演奏や学内式典、学園祭での演奏など、幅広く活動している。

公式Twitter

@ycuorch

公式HP

<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ycuorch/>

公式Twitter



公式HP



会場アクセス

大田区民ホール・アプリコ 大ホール

東京都大田区蒲田5-37-3

- JR京浜東北線 東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分
- 京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分

第4回演奏会



交響楽団はやぶさ & ストラヴィンスキー

4th Annual Concert
HAYABUSA Symphony Orchestra & Stravinsky

グリムカ

「ルスランとリュドミラ」序曲

Glinka / "Ruslan and Lyudmila" Overture

ラフマニノフ

交響的舞曲(シンフォニックダンス)作品45

Rachmaninov / Symphonic Dances, Op.45

チャイコフスキー

祝典序曲「1812年」作品49

Tchaikovsky / 1812 Festival Overture, Op.49

ストラヴィンスキー

バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

Stravinsky / The Firebird Suite (1919 edition)



指揮
マリウス・ストラヴィンスキー
Conductor Marius Stravinsky



出演 交響楽団はやぶさ

2019年 **5/6(月)** 午後2:30開演
(午後2:00開場)

May 6, 2019 (Mon) Performance starts at 14:30

東京オペラシティ
コンサートホール

(東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー3F)

Tokyo Opera City
Concert Hall
(3-20-2 Nishi-shinjuku,
Shinjuku-ku, Tokyo)

チケット
取扱い

チケットぴあ (pia.jp/t)

TEL: 0570-02-9999 [Pコード:141557]

東京オペラシティチケットセンター

TEL: 03-5353-9999



MINISTRY OF CULTURE
RUSSIAN FEDERATION



ロシアにおける日本
音楽におけるロシア 2019
год России в Японии
год Японии в России 2019



ロシア文化フェスティバル
2019 IN JAPAN

チケット
全席指定・税込

SS席: 5,000円 S席: 4,000円

A席: 3,000円

発売日

2019年2月4日(月)

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。
※出演者、演奏曲目、曲順などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

TOKYO 2020
応援プログラム
オールジャパン



■お問い合わせ

友情の架け橋音楽国際親善協会 Friendship Bridge

TEL: 03-6380-8963

e-mail: friendship@u-kakehashi.or.jp

交響楽団はやぶさ実行委員会

e-mail: hayabusa.symphony@gmail.com



マリウス・ストラヴィンスキー Marius Stravinsky

カザフスタン生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、6歳でモスクワ中央音楽学校に入学、10歳よりロンドンへ留学、ユード・メニューイン・スクール、イートン校を経て英国王立音楽院を卒業した。この内、イートン校では音楽による 史上初のソ連人給費留学生となる。14歳よりヴァイオリニストとして各地で活躍。一方、マリス・ヤンソンスとの出会いから指揮へ目覚め、イゴール・ゴロフチン、トーマス・ザンテルリンク等名指揮者に師事、1998年にはクラウディオ・アバドのアシスタントを務めた。2002年モスクワ国立交響楽団及びモスクワ・ヘリコン歌劇場アシスタント・コンダクターへ就任、2007年ロシア史上最年少でカレリア・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者となる。2013～14年ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督ウラディミール・ユロフスキの副指揮者を務め、同楽団のほか、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ベルリン・シュターツカペレ、ベルリン・ドイツ・オペラ等欧州各地に客演、サンクトペテルブルクのマリウス・ストラヴィンスキー劇場やモスクワのスヴェトラーノフ記念ロシア国立交響楽団へも定期的に登場している。2018年、ロシア国立交響楽団を率いて来日。大作曲家ストラヴィンスキー一族の血を引く。



交響楽団はやぶさ

交響楽団はやぶさは、「音楽×社会貢献」をモットーに、日本の医療を担う医科、歯科、薬科、看護科をはじめとする全国の医療系大学の学生が集結し、一つのオーケストラを編成し、2014年7月に発足した団体です。幾多のミッションを達成する強い気持ちを持ち、予期せぬ困難を乗り越えた小惑星探査機「はやぶさ」と、学業を本分としながらも壮大な目標を達成したいという学生を重ね合わせ命名しました。第一回はサントリーホールで、以降は東京オペラシティコンサートホールで公演。2017年はヴァイオリニスト五嶋龍と共演。2018年は宇宙飛行士の古川聡、女優の南果歩がゲスト出演。交響楽団はやぶさの挑戦はますます広がります。



友情の架け橋音楽国際親善協会

友情の架け橋音楽国際親善協会は、文化芸術などの国際交流の「架け橋」となり、日本の文化と芸術を世界に、世界の文化と芸術を日本に発信してきました。同じ志を持つ仲間を世界中で増やし、創造力豊かで活力ある社会をめざし、若い国際人を育てています。2014年から、若者たちに音楽を通して社会貢献できる場として「交響楽団はやぶさ」を学生たちと立ち上げました。全国の医療系大学生を中心に、一般大学生や若い社会人など参加するこの芸術活動が、事業や医療の現場、研究開発機関やグローバル企業にまで、将来繋がっていく大きなエネルギーとなることを確信しております。

オール・ジャパン！ 団員59大学一覧

青山学院大学、エセックス大学(英国)、愛媛大学、大分大学、大阪府立大学大学院、岡山大学、お茶の水女子大学大学院、学習院大学、北里大学、杏林大学、群馬大学、慶應義塾大学、國學院大學、埼玉大学、首都大学東京、順天堂大学、上智大学、昭和女子大学、昭和薬科大学、女子栄養大学、成城大学、聖マリアンナ医科大学、千葉大学、筑波大学、津田塾大学、帝京大学、電気通信大学、東海大学、東京大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京藝術大学、東京工業大学、東京歯科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子大学、東京女子医科大学、東京農業大学、東京農工大学、東京薬科大学、東京理科大学、東邦大学、桐朋学園大学、東北大学、新潟大学、日本大学、日本歯科大学、日本赤十字看護大学、一橋大学、兵庫医療大学、弘前大学、広島大学、防衛医科大学校、星薬科大学、明治大学、横浜市立大学、横浜国立大学、早稲田大学

2019年5月6日(月) 開演午後2時30分

東京オペラシティコンサートホール
(東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー3F)

京王新線「初台駅」東口 徒歩1分
(京王線相互乗り入れ都営新宿線にて新宿から2分)

主催：特定非営利活動法人友情の架け橋音楽国際親善協会

共催：交響楽団はやぶさ実行委員会

後援：外務省、ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、
ロシア連邦文化協力庁、日協協会

応援：はやぶさ会

お問合せ：友情の架け橋音楽国際親善協会 (friendship@u-kekehashi.or.jp)
交響楽団はやぶさ実行委員会 (hayabusa.symphony@gmail.com)

横浜シティ・フィルハーモニック 第67回定期演奏会

Yokohama City Philharmonic 67th Regular Concert

指揮 新通 英洋
ソプラノ 高橋 絵理



ホルスト

日本組曲

ワーグナー

「トリスタンとイゾルデ」

前奏曲と愛の死

ソプラノ 高橋 絵理

チャイコフスキー

交響曲第5番

2019

5/6

(月・祝) 14:00 開演 13:20 開場

横浜みなとみらいホール 大ホール

全席自由 1000 円

お問い合わせ TEL : 080-1044-6728 (広報担当)

URL: <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~yhcp/> E-MAIL: yhcp_info@yahoo.co.jp

*当楽団のホームページは、クラシック音楽情報センター(<http://www.musicinfo.com/>)より、サーバーの無償提供を受けています。

*65歳以上の方、高校生以下の学生の方は無料ご招待いたします。当日身分証明書をご持参ください。

*未就学児童の入場はご遠慮いただきますが、託児サービスがございます。

生後6か月からのお子様をお預かりするサービスです。事前予約制で先着10名様、お1人2,100円(税別)となります。

サービスをご希望の方は公演の3か月前～5日前までに、下記申込先へ電話にてご予約ください。

株式会社 明日香(あすか) TEL:0120-165-115 通話料無料で携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※フリーダイヤルがつかない場合 03-6912-2125 (通話料有料) (月～金 9:00～17:00) HP:<http://www.g-asuka.co.jp/>

主催：横浜シティ・フィルハーモニック

YOKOHAMA CITY PHILHARMONIC

新通 英洋 指揮 Hide Shindori



桐朋学園、モスクワ音楽院において指揮を学ぶ。秋山和慶、小澤征爾、尾高忠明、黒岩英臣、高階正光、L.ニコライエフ、V.シナイスキー各氏に師事。英国ロイヤルオペラハウス、イングリッシュ・ナショナルオペラ、BBC ウェールズ交響楽団等のリハーサルで研鑽。第5回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいて第2位ならびに特別賞受賞。ワルシャワでシンフォニア・ヴァルソヴィアを指揮してヨーロッパ・デビュー。W.チェン、E.モグレフスキー、G.シャハム、佐々木典子、高橋多佳子、横山幸雄各氏をはじめとする多くのソリストと共演。独奏者からの望も厚い。近年はアルマ・マラー歌曲全曲演奏など、管弦楽の響きが醸成される異色派伴奏ピアニストとしても評価が高まっている。日本テレビ「深夜の音楽会」にも出演。これまでに大阪フィル、九州響、群馬響、札幌響、東京響、東京シティ・フィル、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、読売日響、ポーランド国立シレジア・フィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア等を指揮。

2015年からロイヤルバンコク交響楽団に客演を続けており、バンコク・ポスト紙で「オーケストラと指揮者の出会いはお互いに本当に幸福だった。ロイヤルバンコク交響楽団と彼の真の勝利体験に観客は熱狂した」と絶賛された。また2017年9月、台湾・香港・アメリカ・日本の医師たちによって結成された第1回アジアドクターズオーケストラ日本公演に参画し、小児がんの子どもたちを支援するチャリティーコンサートなど音楽による社会福祉やボランティア活動にも力を注いでいる。オペラでは「こうもり」「森は生きている」「後宮からの逃走」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「ラ・ボエーム」等を指揮し高く評価された。ライフワークとして探求するベートーヴェンの交響曲のほか、バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」等、宗教曲や合唱音楽にも意欲的に取り組んでいる。大阪音楽大学特任教授、世田谷フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。

高橋 絵理 ソプラノ Eri Takahashi



秋田県出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。2011年第47回日伊声楽コンクール第3位。2011年第6回静岡国際オペラコンクール第3位（あわせてオーディエンス賞）。五島記念文化賞オペラ部門 平成26年度新人賞受賞し、イタリア・ボローニャを拠点に学ぶ。二期会オペラ研修所修了時に優秀賞・奨励賞受賞。新国立劇場オペラ研修所第10期生修了。

二期会には、2012年二期会創立60周年記念『パリアッチ（道化師）』（パオロ・カリニャーニ指揮/田尾下哲演出）ネッタ役でデビュー。翌年8月には『ホフマン物語』（ミシェル・ブラッソン指揮/栗国淳演出）アントニア役で出演し好評を博した。2013年三河市民オペラ『トゥーランドット』リュウで賞賛を浴びる。日生劇場には2017年『ラ・ボエーム』ムゼッタ、2018年『魔笛』侍女I、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージで出演。

秋田アトリオン音楽ホールでリサイタルを開催するほか、2018年『こうもり』ロザリンデ、2019年『ラ・ボエーム』ミミを演じている。コンサートでは「第九」、ヴェルディ/モーツァルト「レクイエム」、マラー「交響曲第4番」等のソリストを務める。テレビ朝日「題名のない音楽会」にも出演。2019年共同制作『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、4月二期会コンチェルトンテ・シリーズ「エロディアド」サロメ役で出演。二期会会員。

横浜シティ・フィルハーモニック

横浜シティ・フィルハーモニックは、完全自主運営のアマチュアオーケストラです。

1980年に数名のメンバーで創立して以来、公開の自主演奏会は（定期演奏会にカウントしていない8回の演奏会を含め）今回で通算75回目。過去に「第九」、「展覧会の絵」、「マラー5番」などの大編成の曲からヴィラロボスのギター協奏曲、シャブリエの「田園組曲」などの毛色変わった曲も意欲的に取り上げてきました。

これまでに、現田茂夫氏、松岡究氏、末永隆一氏、江原功氏、故鎌田由紀夫氏、横山俊充氏、新田ユリ氏、末廣誠氏、佐伯正則氏、横島勝人氏、御法川雄矢氏、高橋俊之氏、山下伸介氏、小森康弘氏などに指揮を、ピアノの東誠三氏、斎藤龍氏、小口真奈さん、ヴァイオリンの遠藤香奈子さん、松田理奈さん、東海千浪さん、チェロの古川展生氏などにソロをお願いしました。

団員は、社会人、主婦、大学生などさまざま。毎週日曜日の午後、団員みなが各自の都合を調整して練習に参加しています。また、運営にかかわる費用負担をはじめ、運搬や楽譜、練習場所の手配などの仕事もみなで分担しています。

☆団員募集中☆ 当団では下記の通り団員を募集しています。

募集パート：ヴァイオリン・ヴィオラ・コントラバス・打楽器

練習日：日曜日午後 主な練習場所：フォーラム南太田(横浜市南区)他 お問い合わせ先：boshu_ycp@yahoo.co.jp

会場へのアクセス

横浜みなとみらいホール

〒220-0012 横浜市中区みなとみらい2-3-6

Tel : 045-682-2020

●みなとみらい駅

(東急東横線直通/みなとみらい線)下車
「クィーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分

●桜木町駅

(JR 京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車
動く歩道からランドマークプラザ経由で
クィーンズスクエア1階奥(徒歩12分)



【駐車場】

- ① みなとみらい公共駐車場(シブイク横濱) = 1200台 / 7:00-24:00 / 30分260円
* ご来場のお客さまのために、みなとみらい公共駐車場の割引券をご用意しております。
- ② クィーンズパーク/クィーンズスクエア(地下) = 1700台 / 7:00-24:00 / 30分260円
- ③ ランドマーク駐車場(ランドマークタワー地下) = 1400台 / 24hrs / 30分260円
* 週末・祝日は業務に支障いたしますので、ご注意ください。

【デザイン】野田愛子・青柳裕子(背景切り絵)

東京慈恵会医科大学音楽部管弦楽団 第一〇八回定期演奏会



指揮・米津 俊広

ショスタコーヴィッチ
交響曲第10番

グラズノフ 祝典序曲
ボロディン 交響曲第2番

2019
5/11

OPEN : 17:00 / START : 17:40

練馬文化センター 大ホール

西武池袋線・西武有楽町線 練馬駅 中央北口徒歩1分
都営地下鉄大江戸線 練馬駅 北口徒歩1分

全席自由 当日券 500円

当団体HPまたは記載のQRコードから事前に申し込み頂くと
無料でチケットをお取り置きいたします(※切:公演前日18時)

ホームページ: <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~jikeisym/>

お問い合わせ: jikei.orchestra@gmail.com



埼玉大学管弦楽団 第95回定期演奏会

Saitama University Orchestra the 95th Regular Concert



ベートーヴェン

交響曲第5番 ハ短調 作品67 「運命」

シューベルト

交響曲第7(8)番 口短調 D759 「未完成」

スッペ

喜歌劇「軽騎兵」序曲



指揮 佐藤親悟

2019年5月11日(土)

開場 13:00 開演 13:30 埼玉会館 大ホール

入場料 500円 (全席自由、当日券・招待券のみ)

※小学生以下・65歳以上は入場無料

※前売り券はございません。

※当日は余裕をもってお越しください。座席数が残り少なくなってきた場合、客席整理のため一時的に入場規制する場合がございます。

お問い合わせ

☎080-5699-3097 (日野) (3/14~5/14)

*すぐ電話に出られない場合もございます。ご了承下さい。

✉ suo.uketuke@gmail.com

・HP: <http://s-u-orch.main.jp/>

・Twitter: @saidai_oke

JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分



中央大学管弦楽団

第81回定期演奏会

V. カリンニコフ

交響曲第1番 ト短調

伊福部昭
交響譚詩

C. ドビュッシー (H. ビュッセル編曲)
小組曲

指揮 佐藤寿一 (当団常任指揮者)

2019年 5月24日 (金)

開場 17:45 / 開演 18:45

オリンパスホール八王子

チケット 800円 (全席自由)

前売り 中央大学生協 (多摩キャンパス)
チケットぴあ
オリンパスホール八王子 総合受付
お問い合わせ 080-4913-7803 (総務・宇高)
chuoorchestra.soumu@gmail.com
ホームページ <http://chuo-uni-phil.wixsite.com/chuophill>

※当日このチラシをお持ちいただくと、
4名様まで無料でご入場いただけます。【 名様】

Twitter @chuo_orchestra
Instagram @chuo_orchestra
Facebook 中央大学管弦楽団

主催 中央大学学友会文化連盟音楽研究会管弦楽部
後援 八王子市 多摩市



©Masaki ARIYAMA

交響曲第1番 ト短調

ヴァシリイ・セルゲヴィチ・カリンニコフは近代ロシアに生まれた作曲家である。その名前は、チャイコフスキーやいわゆる「ロシア5人組」に比べたら飛び抜けて知られている訳では無いが、彼の残した2曲の交響曲は魅力的な旋律に彩られ、好む人は思いのほか多い。彼は1866年生まれ、1901年没と約35年の短い生涯であった。しかし、命を奪うことになった結核に蝕まれながらも、残した2曲の交響曲を始めとする作品とその才能はチャイコフスキーにも称賛された。

今回取り上げる交響曲第1番ト短調は、1894年から翌年にかけてヤルタで作曲され、1897年にキエフで初演された。ソナタ形式で均整の取れた伸びやかな第1楽章、夜の静けさのような、切なさすら感じさせる甘美な第2楽章、晴れやかで爽やかさが特徴の第3楽章。そして、彼のエネルギーを爆発させたかのようなエネルギッシュな第4楽章。伝統的な4楽章形式の交響曲の中にたくさんの魅力が詰まっている。

チャイコフスキーやラフマニノフが惜しみなく賞賛した、この交響曲を中大オケの力強い演奏でぜひ聴いて頂きたい。

中央大学管弦楽団

中央大学唯一のオーケストラであり、学内において中央大学学生会文化連盟音楽研究会管弦楽部として活動している。当団の前身であった「室内楽部」が、1955年に中央大学設立70周年記念式典でシューベルト作曲の未完成の演奏を機に「管弦楽部」と改名し、現在に至る。

1962年12月に第1回定期演奏会を開催以来、小松一彦、増井信貴、大高義人、佐藤寿一各氏の指揮により演奏会を重ねている。

プロの指揮者や演奏家の方から指導を受け、毎年5月・12月に定期演奏会を開催している。7月には音楽研究会に所属する他部会とのジョイントコンサート、入学式・卒業式での演奏、また楽器のセッション別での演奏会を積極的に開催し、1年を通して精力的に活動している。



© Masaki ARIYAMA

指揮 佐藤寿一

埼玉大学教養学部（哲学コース／音楽美学）を卒業後、指揮に転向。指揮を小松一彦、高階正光、前田幸市郎の各氏に師事。これまでに山形交響楽団、千葉交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ハンガリーのサヴァリア交響楽団、韓国カンナム交響楽団、国立台湾交響楽団青年部などを指揮。またオペラ『フィガロの結婚』『ヘンゼルとグレーテル』『カルメン』『あまんじゃくとうりこひめ』では指揮と同時に演出も手掛け、好評を博した。13年にはニューヨークカーネギーホールで『第九』その他を指揮し、満席の聴衆総立ちのスタンディングオベーションという熱狂を巻き起こす成功を収めた。

98年から04年まで山形交響楽団指揮者。89年から中央大学管弦楽団を指導している。



オリンパスホール八王子へのアクセス
JR八王子駅南口直結
京王八王子駅から徒歩8分

Torakomon Symphony Orchestra 虎の門交響楽団

第101回定期演奏会

J. シュトラウスⅡ世
喜歌劇「こうもり」序曲

L.v. ベートーヴェン
交響曲 第1番

M. ブルッフ
交響曲 第3番

指揮: 米津 俊広

入場無料
全席自由

2019年 5月24日 金

午後6時30分開場 午後7時開演

大田区民ホール アプリコ 大ホール

大田区蒲田五丁目37番3号 TEL.03-5744-1600

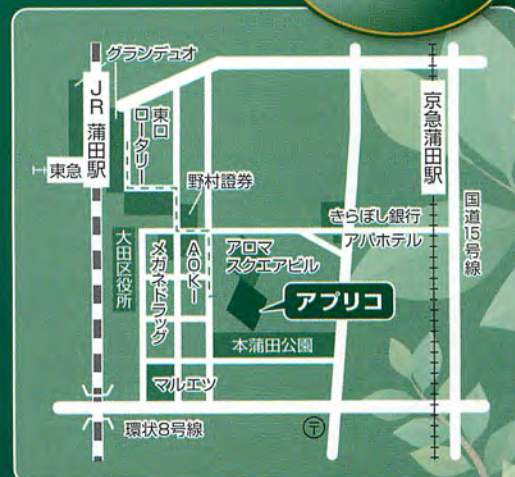
♪入場券、整理券などはありません。どなたもお聴き頂けます。♪

お問い合わせ先

TEL.090-2472-8900 非通知設定解除の上お問い合わせ下さい。

torakyomail@gmail.com

虎響ホームページ <http://torakyo.grupo.jp/>



JR京浜東北線 東急多摩川線・池上線蒲田駅東口から
徒歩約3分 / 京浜急行 京急蒲田駅から徒歩約7分

5/2019
25

LEON SYMPHONY JAZZ ORCHESTRA

旗揚げ公演

レオケ
LEOK
デビュー



懐かしの映画音楽やイージーリスニング曲を
おしゃれなジャズアレンジで演奏する
日本初の社会人 Jazz Symphonic Orchestra 誕生!

ムーンライト・セレナーデ／雨に唄えば／シャレード／魅惑のワルツ
いつか王子さまが／ブラジル／007ロシアより愛を込めて／アイ・ガット・リズム
ひまわり／新世界交響曲「家路にて」 etc.

※都合により曲目を変更する場合がございます。



2019 5月25日(土) 開場 13:30
開演 14:00

§ チケット

1,000 円 (全席自由)

※中学生以下無料 / 未就学児入場可
※車いすご利用の方は事前にご連絡ください。

§ チケットの予約・購入

取扱プレイガイド

チケットぴあ [Pコード: 144886] <https://t.pia.jp/> 電話: 0570-02-9999

Peatix (ピーティックス) [レオケで検索] <https://peatix.com/>

当日販売: 当日 13:30 より会場受付にて (満席の場合を除く)

§ 会場

サンパール荒川 (荒川区民会館) 大ホール
東京都荒川区荒川 1-1-1 (荒川警察署向かい)
TEL.03-3806-6531

§ お問い合わせ

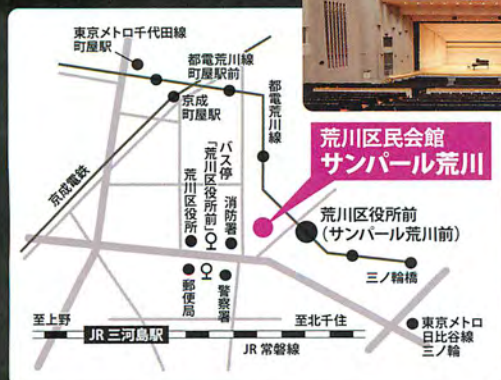
公式ホームページ (問合せフォーム)

<http://leon-orchestra.tokyo/>

公式 Twitter

<https://twitter.com/LeonJazzOK>

メール: leonsymphony@gmail.com (楽団代表: 中山礼音)



- ① 都電荒川線 荒川区役所前下車 徒歩 2 分
- ② 東京メトロ 日比谷線三ノ輪駅下車
南千住方面改札を出て明治通りを王子方面へ徒歩 12 分 (荒川警察署向い)
- ③ 都バス
JR 日暮里駅東口より「里 22」亀戸行き → 荒川区役所前下車 徒歩 2 分
JR 西日暮里駅より「草 63」浅草寿町行き → 荒川区役所前下車 徒歩 2 分

※ 団員制作協力: 岸田好之 (写真)、湯浅典子 (楽団ロゴ)

三田フィルハーモニーオーケストラ

第28回定期演奏会

メンデルスゾーン
交響曲第5番『宗教改革』
ブラームス
交響曲第2番

指揮：後藤悠仁

2019年
5月26日(日)

13時30分開場
14時開演

大田区民ホール・アプリコ
大ホール

JR京浜東北線 東急多摩川線・池上線
「蒲田駅」東口から徒歩約3分

京浜急行線 京急「蒲田駅」西口から徒歩約7分



お車でご来場の際は、大田区営アロマ地下駐車場(有料:297台収容)をご利用ください。
車椅子席をご用意いたしますので、ご希望の場合は事前にお知らせください。

入場無料 全席自由・チケット不要
(未就学のお子様のお入場はご遠慮頂いております)

主催：三田フィルハーモニーオーケストラ
お問い合わせ：090-4454-3652 mitapo.info@gmail.com
HP：<https://sites.google.com/site/mitaphilharmonic/>

第80回記念定期演奏会



新宿フィルハーモニー管弦楽団

2019年6月1日(土)午後6時開演(開場5時半)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

全自由席 1,000円

新宿文化センター大ホール Sat., 1 June, 2019 6:00p.m. Shinjuku Bunka Center



指揮：長田 雅人
MASAHITO OSADA, conductor

ブラームス：大学祝典序曲 作品80
Brahms : Academic Festival Overture, Op.80

エルガー：エニグマ変奏曲 作品36
Elgar : Enigma Variations, Op.36

ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調 作品92
Beethoven : Symphony No.7 in A major, Op.92

80th memorial

SHINJUKU
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

Photo: Eiji ITO



●チケット取り扱い

新宿文化センター1階案内所
新宿区新宿6-14-1 TEL.03-3350-1141
受付時間：午前9時～午後7時(原則第2火曜日は休館)

●無料招待券

当団ホームページからダウンロードして印刷し、演奏会当日にお持ち下さい。※予定枚数に達し次第終了といたします。
ホームページアドレス

<http://sjphil.org/> または

●新宿区民100組・200名様を優先招待

往復ハガキに返信先を明記の上、下記の宛先にお送りください。
〒162-0832 新宿区岩戸町8 久野真人 宛
※1通の応募で2名様まで入場可能。
※先着順で定員に達し次第終了といたします。
お問い合わせ先 久野 070-3965-1860



主催：新宿フィルハーモニー管弦楽団

共催：新宿区



2019
6.1
SAT

アンサンブル・マイルストーン第32回演奏会

Ensemble Milestone 32nd Concert

モーツァルト/交響曲第31番「パリ」
ブルックナー/交響曲第4番「ロマンティック」
(ハース版)



指揮	2019年6月1日(土)	入場無料
今井 治人	14:00開演 13:30開場	全席自由

狛江エコルマホール 小田急線狛江駅北口徒歩1分(小田急OX4階)

●お問い合わせ: アンサンブル・マイルストーン
TEL 044-854-7072(山中) / e-mail ensemble.milestone@gmail.com / HP <http://ensemblemilestone.web.fc2.com/>

シューマンの 萌きざし

市民響 × 森口真司 × 江崎昌子

府中市民交響楽団

Shinji Moriguchi・指揮

Masako Ezaki・ピアノ

ブラームス 大学祝典序曲 作品80
J.Brahms : Academic Festival Overture Op.80

シューマン ピアノ協奏曲 イ短調 作品54
R.Schumann : Piano Concerto in A minor Op.54

シューマン 交響曲 第1番 変ロ長調 「春」 作品38
R.Schumann : Symphony No.1 in B flat major Op.38 "Spring"

2019年

6月2日(日)

13:30 開場 / 14:00 開演

14:00 start, Sunday, June 2nd, 2019 at Fuchu-no-Mori Theater "Dream Hall"

府中の森芸術劇場 どりーむホール

全席自由 前売1,200円 / 当日1,500円

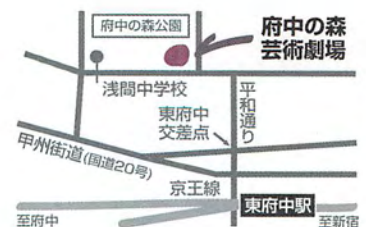
*小学校入学前のお子様のご入場はご遠慮下さい。

*当団では点字チラシとプログラムをご用意しております。詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ：ハーモニージャパン 03-3409-3345 / 大橋康廣 042-368-6180 / info@fuchu-cso.org

チケット取扱：チケットぴあ 0570-02-9999 【Pコード：144-545】

主催：府中市民交響楽団 <https://www.fuchu-cso.org/> 後援：府中市 協力：点訳ボランティアてまり



大阪府出身。京都大学文学部を経て1995年東京藝術大学大学院指揮科修了。指揮法を田中良和、遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、若杉弘の各氏に師事する。大学院修了後すぐブラハの春国際音楽コンクール指揮部門に於いて第3位受賞（1位なし）、同時にブラハの春国際音楽祭に出演しブラハ放送交響楽団を指揮した。以降東京フィルハーモニー交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京都交響楽団、札幌交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、など全国各地のオーケストラに客演する。また岩城宏之氏に認められ、2003年から2年間オーケストラ・アンサンブル金沢の専属指揮者を務め、定期公演、オーストリア・ベルギー公演など数多くの重要な演奏会で成功を収めた。

オペラ指揮者としてこれまで30を超す作品を100回近く指揮し、大田区民オペラ/ベッリーニ「ノルマ」（「三菱UFJ信託音楽賞」受賞）ヴェルディ「シモン・ボッカネグラ」、モーツァルト劇場/オッフエンバック「シュプルーリ氏のサロンコンサート」「りんご娘」（日本初演）などが各方面から絶賛された。また東京二期会を中心に若杉弘、飯守泰次郎、佐藤功太郎、チョン・ミュンフン、クラウス・ペーター・フロール、エド・デ・ワールト、ペーター・コンヴィチユニー、宮本亜門など著名な指揮者・演出家のもと、ヤナーチェク「イエヌーフア」ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「さまよえるオランダ人」R.シュトラウス「サロメ」「アラベラ」「ダナエの愛」（日本初演）「ダフネ」（日本初演）チャイコフスキー「エフゲニー・オネーギン」など数多くの公演に合唱指揮者として参加、その手腕は極めて高く評価されている。2002年から2009年まで東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスも務めた。

東京藝術大学、二期会オペラ研修所講師を経て2008年大分県立芸術文化短期大学音楽科に着任する。現在は本拠地を九州に移し、愛媛県合唱連盟50周年記念公演「メサイア」、九州交響楽団ベートーヴェン第九演奏会（2011、14、17年）、大分二期会「魔笛」「こうもり」、ホルトホール大分開館記念演奏会、文化庁・大分県立芸術文化短期大学共催「ヘンゼルとグレーテル」「フィガロの結婚」、世界的バレエダンサー首藤康之氏演出・振付によるバレエ「ドン・キホーテ」など数々の重要な公演の指揮を任されている。

現在大分県立芸術文化短期大学教授、大分大学非常勤講師、大分二期会理事。



指揮
森口真司
Shinji Moriguchi



ピアノ
江崎昌子
Masako Ezaki

桐朋学園大学を卒業後、ポーランド・ワルシャワショパンアカデミー研究科修了。1995年第6回ミロシ・マギン国際ピアノコンクール第1位（フランス）、1997年第4回シマノフスキ国際ピアノコンクール第1位および最優秀シマノフスキ演奏賞（ポーランド）、1998年第21回サレルノ国際ピアノコンクール第1位および最優秀トビュッシー演奏賞（イタリア）、2005年第31回日本ショパン協会賞受賞。

2010年、ポーランド政府より外国人に贈られる文化勲章「グロリア・アルティス」銅メダルを受勲。

これまでにポーランド各地のオーケストラとの共演やモスクワ放送響、チェコフィル、東京交響楽団、新日本フィル、日本フィル、大阪フィルなどと共演。横浜市招待国際ピアノ演奏会、NHK・FMリサイタルなどに出演。

CDは、オクタヴィアレコードよりソロアルバムをリリースしており、ポーランドの作品集や2005年からはショパン全曲集を展開している。これまでに、エチュード・マズルカ・ソナタ・ノクターン・オーケストラ付き作品集をリリースし、レコード芸術誌において特選盤となるなど高い評価を受けている。

近年では、ニュージーランドでの演奏会ツアーやブラハでのチェコフィル定期演奏会出演、韓国ポーハンフィルとの日韓におけるツアーでの共演、ポーランドやリトアニア、ショパン生家などでリサイタルを行うなど、さらなる演奏活動を繰り広げている。現在、洗足学園大学准教授・日本ショパン協会理事。

シューマン といえば... トロイメライに代表されるような、ロマンティックで繊細な旋律をたくさん生み出し、病弱で短命というイメージ、そしてピアニストの妻クララとの情熱的なストーリーで有名である。長い裁判の末ついにクララとの結婚にこぎつけ、まさに人生の「春」そのものだった頃、交響曲第1番はあつという間に完成した。『春』という副題も、そして各楽章にもそれぞれ表題を本人が付けたという（楽章の表題は後に削除された）。第1楽章、冬の終わりを思わせる寂しげな序奏から一転、付点音符のリズムで、ウッキウキの春が始まる。第2楽章、弦楽器による夢見るようなメロディは「春のたそがれ」と当初シューマンが名付けていた。休みなく第3楽章のスケルツォへ、楽しい遊びの曲。そして第4楽章では再びウッキウキの春たけなわとなる。どこをとっても「さすがシューマン」と思わせる美しい表現に溢れる名曲なのだが、うーむ、弾きにくい。楽譜は難しくない、でもなぜか上手く弾けない。音が急に飛んだり、余計な（と言っはいけない）トリルや装飾音が散りばめられ、細かく速く正確に延々と…… これらをピアノのようにさりげなく軽やかに弾くことが要求される、弦楽器泣かせの曲のひとつということなのだろう。

一方の**ピアノ協奏曲**。シューマンが得意と思われるピアノ曲だが、この協奏曲が完成するまでには長い時間を要したという。一般的に協奏曲におけるオーケストラは伴奏役、音が大きい大きいと怒られ、これといった美味しいメロディは少なく、拍手は全てソリストに持って行かれるという残念な役のはずなのだが、今回のピアノ協奏曲は、なにやら様子が違うように思う。難しい理屈はわからないが、例えば冒頭ピアノが弾くと、オーボエが吹く、またピアノが弾くと、今度は弦楽器とのアンサンブル、またピアノ、そしてオーケストラ大合奏…というように、ピアノソロとオーケストラの分担具合が実に楽しいのである。

ピアノを弾いていただく江崎昌子氏は、ポーランド人のご主人とご家族と一緒に府中にお住まいで、地元のライブ演奏等でもご活躍とのこと。また、かつて東府中にお住まいだった指揮の森口氏と市民響は3年ぶりの共演となり、お二人にお会いできる練習の日が楽しみでならない。そして1曲目 — ブラムスとシューマンそしてクララとの深い三角関係については他の解説を探していただくとして — ブラムスの『大学祝典序曲』は、昨春演奏した『悲劇的序曲』と同時期に作曲された。4つの学生歌を引用し、『悲劇的…』とは対照的に華やかで明るい序曲だ。かつて「大学受験ラジオ講座」のテーマ曲だったと、当団最高齢の団員から聞いた。この曲を聴くと受験生時代の辛い？思い出がよみがえる方もいるのかもしれない。

6月2日は暦の上ではすっかり夏ですが、芽吹きを季節を振り返りながら、府中の森のシューマンとブラムス、どうぞお楽しみください。

浦安シティオーケストラ 第51回定期演奏会

グリンカ

歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

チャイコフスキー

バレエ音楽「眠れる森の美女」より抜粋

交響曲第5番 ホ短調 作品64

2019. 6/9 日

14:00 開演 (13:00開場)

浦安市文化会館

※ JR京葉線「新浦安駅」または
東京メトロ東西線「浦安駅」より
バスをご利用ください。

指揮 鈴木 衛

【チケット】

一般 1,000円、65歳以上 500円
3歳以上大学生以下 500円 (全席自由)

【プレイガイド】

浦安市文化会館 (047-353-1121)
浦安市民プラザ (047-350-3101)

4月1日
販売開始

【問い合わせ】

kouhou.uraorhe@gmail.com
080-1087-3800 (今村)

浦安オケ

検索

【主催】 浦安シティオーケストラ
【後援】 浦安市教育委員会
千葉交響楽団協会

指揮 鈴木 衛

2012年に東京音楽大学指揮科を卒業。その後、上野学園大学にて学ぶ。これまでに指揮を広上淳一、下野竜也、汐澤安彦、田代俊文、三河正典、大河内雅彦、船橋洋介の各氏に師事。

2017年4月より日本フィルハーモニー交響楽団にてピエタリ・インキネン氏のアシスタントを務め、インキネン氏が指揮をする公演に携わる。

2016年より京都市ジュニアオーケストラの副指揮者を務める。

2014年と2015年には霧島国際音楽祭に参加し、高関健氏と下野竜也氏による指揮マスタークラスを受講。

毎夏に静岡県のグランシップで開催される「音楽の広場」公演では、2012年と2013年の公演で副指揮を務めた。

2012年にフィンランドのナントリで行われたヨルマ・パヌラ氏による指揮者講習会に参加し、最終日の祝賀コンサートに出演。2010年と2011年に行われた、第2回・第3回オーケストラアンサンブル金沢主催の井上道義氏による指揮者講習会ではリレーコンサートに出演。

オーケストラや吹奏楽の公演の他にも、オペラの分野では2016年10月に東京都世田谷区の六所神社で行われた、六所の森クラシックコンサート第30回記念公演にてビゼー／歌劇「カルメン」を指揮した。

東京音楽大学在学中にはモーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」やJ.シュトラウスII世／喜歌劇「こうもり」を指揮。合唱においては、毎年6月に開催される横浜開港祭での「ドリーム・オブ・ハーモニー」公演にて2016年より副指揮を務めている。

また、2013年より四街道少年少女合唱団の指揮者として、定期演奏会等の公演を指揮。当団とは、第47回に続き、二度目の共演となる。



会場までのアクセス

～東京メトロ東西線「浦安駅」からのアクセス～

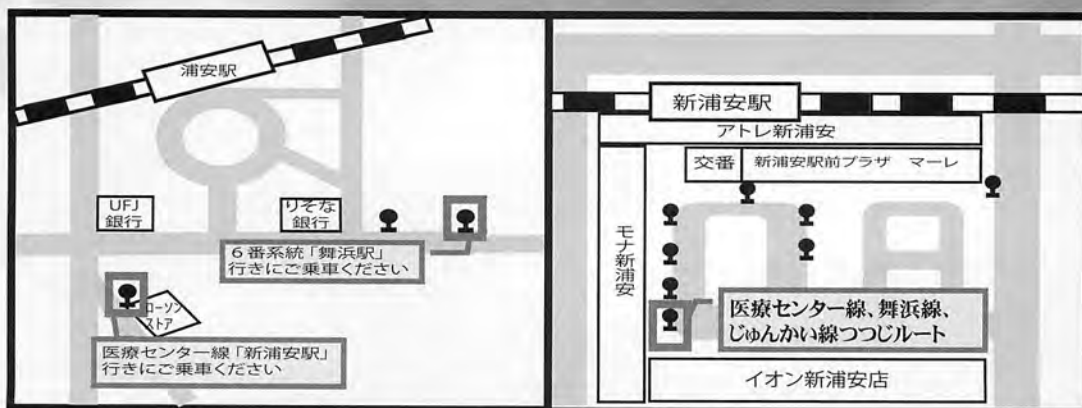
東京ベイシティバス 6番系統「舞浜駅」行き 【市役所前】で下車

おさんぽバス 医療センター線「新浦安駅」行き 【浦安市役所】で下車

～JR京葉線「新浦安駅」からのアクセス～

おさんぽバス 医療センター線・舞浜線・じゅんかい線つつじルート

【浦安市役所】で下車



KANAGAWA UNIVERSITY ORCHESTRA

神 奈 川 大 学
管 弦 楽 団
第 73 回
定 期 演 奏 会

7th REGULAR CONCERT

2019.6.9 (sun) 14:00開演(13:00開場)

横須賀芸術劇場 大ホール

L.Beethoven

L.ベートーベン ◆ 交響曲第3番変ホ長調
Op.55「英雄」

A.Khachaturian

A.ハチャトゥリアン ◆ 組曲「仮面舞踏会」

J.Strauss II

J.シュトラウス2世 ◆ 喜歌劇「こうもり」序曲

常任指揮者 **松岡 究**

■ 入場料

前売 500円 当日 800円 (全席自由席)

※3歳以下のお子様に関してはチケットの購入は必要ありません。

4歳以上のお子様をお連れの場合はお子様分のチケットもご購入いただけますようお願い申し上げます。

■ プレイガイド

神奈川大学生協 横須賀芸術劇場

■ お問い合わせ

TEL 045-481-7842 (部室直通/11:00~16:00 月~金)

mail:kuo_concert_ticket@yahoo.co.jp

前売り券予約を部室直通の電話にて受付中!

神奈川大学管弦楽団ホームページ <https://orch.ku-sports.jp>

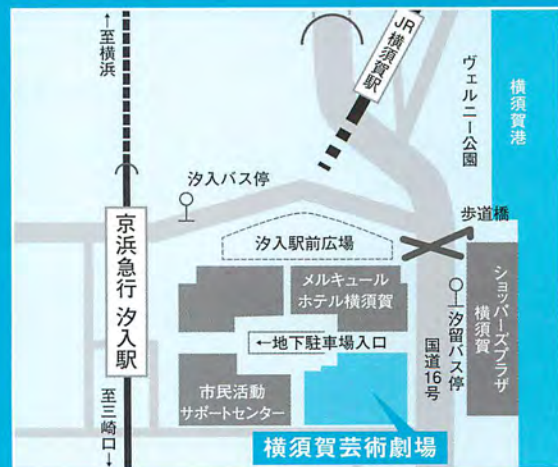
ホームページで招待券をプレゼント!! 詳しくはホームページまで



後援 Fm yokohama 84.7

tvk

神奈川新聞社



当日は混雑が予想されますのでお車でのご来場はご遠慮下さい。

LESQUARE 46

指揮 / 田部井 剛

ブリテン / 青少年のための管弦楽入門

ブルックナー / 交響曲第7番

2019
6/9 (日)

13:30開場 14:00開演

ルスコアール管弦楽団第46回演奏会

場所: すみだトリフォニーホール 大ホール
(JR東日本・東京メトロ半蔵門線 錦糸町駅北口より徒歩5分)
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

入場料: 1,000円

全席自由・当日券あり ※当日券販売開始は12:30~

お問合せ先: FAXのみ 04-2945-3391 (石黒) E-mail: webmaster@lesquare.org
ホームページ: <http://lesquare.oops.jp/>



田部井 剛(たべいつよし)／指揮

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。

これまでに指揮法を遠藤雅古、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、藤田雅の諸氏に師事。

沖縄国際音楽祭出演。東京芸術大学在学中にはレハールのオペレッタ「メリーワイドウ」を全曲指揮。

1999年には日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・テラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮(日本初演)。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2002年には「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いつみこ著「ピアニストがみたピアニスト」<Pianistes, vus par pianistes>(白水社刊)では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。2003年には室内合奏団「カメラータ・ジオン」(Camerata Jion)を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト故青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。そのライヴ録音が仏アンテグラル社(Integral Classics, France INT 221.156)よりリリース

されている。2018年にはハイドシェック来日50周年特別公演ツアーを指揮、氏より「人生で最も幸福な体験」と評された。また、漆原啓子、林峰男、上村昇、永井和子、佐々木典子、原田節、カテリーナ・シット、宗次郎、クミコ、岡本知高、故江戸家猫八、谷川俊太郎などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。

オペラの分野においては、團伊玖磨『ちゃんちき』、モーツァルト『フィガロの結婚』『魔笛』など指揮し、高い評価を得た。

このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シン・フィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京佼成ウインドオーケストラ、ザ・シンフォニーホールチェンバーアンサンブル等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング。そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている(STUDIO FLORA B-2704)。

2010年には日本フィルハーモニー交響楽団にて文化庁主催公演(計9公演)を指揮した。2012年より桐蔭学園「第九の会」音楽監督を務める。2013年には伝説のチェリストと謳われる、クリスティーン・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、カメラータジオンを指揮、氏より「偉大な才能」と高く評価された。

また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル(Fritz Dolezal)、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏と共演している。2009年には白土文雄(チューリッヒ・トーンハレ元首席コントラバス奏者)のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノログ」がリリースされた(HCC 2049)。2012年にはドビュッシー生誕150周年に際し、浜離宮朝日ホールにて行われた、文学キャバレ「黒猫」とその仲間たち、また、カワイコンサートサロン「パウゼ」にて行われたドビュッシーフェスティバル2012に出演、青柳いつみこ氏と連弾曲を演奏、好評を博した。2013年には再び白土文雄とのデュオアルバム「Basso d'Amore」をOpus 55よりリリースし、稀有な室内楽奏者としての高い評価がなされている(OPFF- 10019)。

2019年1月には、ハクジュホールにてカプレの編曲による、ドビュッシー「海」を、青柳いつみこ、森下唯両氏とともにピアノ2台6手版にて演奏(日本初演)、話題を呼んだ。2009年、上毛芸術文化賞受賞。

今回はブリテン作曲の「青少年のための管弦楽入門」と、ブルックナー作曲の交響曲第7番の2曲でお送りいたします。

ベンジャミン・ブリテン(1913-1976)はイギリスの作曲家で「シンプル・シンフォニー」などが有名です。「青少年のための管弦楽入門」は1946年に作曲され、英国放送協会BBCの音楽教育番組で放送されました。この曲の主題は同じくイギリス出身の作曲家ヘンリー・パーセル(1569-1695)が没年に作曲した「アプデラザール組曲」のロンドを用いています。そのパーセルの主題からはじまり、オーケストラの各楽器がソロで変奏していきます。解説(楽器紹介)付きと解説なしどちらでも演奏されますが、今回は解説なしでお送りします。各楽器が力強くまたは優雅に主題を変奏していきますので、楽器の特徴を味わっていただければ幸いです。

アントン・ブルックナー(1824-1896)はオーストリアで生まれました。同時代の作曲家であるブラームス(1833-1897)は保守派、ワーグナー(1813-1883)は革新派とざっくり分類されますが、ブルックナーはワーグナーの壮大な音楽観に傾倒し、大ファンとして自身の曲を献上したほどです。交響曲第7番第2楽章執筆中、すでに危篤の連絡を受けていたワーグナーが死去し、第2楽章の184小節以降はワーグナーのための葬送音楽となっています。構成は第1楽章アレグロモデラート、第2楽章アダージョ、第3楽章スケルツォ、第4楽章フィナーレで1時間を越える大作です。大味一辺倒な曲かと思いきや、感傷的で美しいメロディーが魅力的で、ブルックナーの交響曲の中で一番親しみやすいと言われています。

各楽器の魅力を伝えるのに十分すぎるこの選曲で、ルスコアールのメンバーがどのように表現するのか、ご期待ください!



Ein Kleines Orchester

21st Summer Concert



慶應義塾アインクライネスオーケストラ第21回夏季演奏会

交響曲第3番 ニ長調 作品29 / チャイコフスキー

歌劇『エフゲニー・オネーギン』よりワルツとポロネーズ / チャイコフスキー
エグモント序曲 作品84 / ベートーヴェン

学生指揮

2019/6/15 (土)

開場 13:30

開演 14:00

入場無料/全席自由

事前予約券・当日券

あり

鎌倉芸術館小ホール

〒247-0056

神奈川県鎌倉市大船6丁目1-2

JR「大船」駅より徒歩10分



指揮 川本統脩 ソニー吹奏楽団 音楽監督・常任指揮者

ソニー吹奏楽団 第55回 定期演奏会

交響詩「モンタニヤールの詩」
プスタ〜4つのジプシー舞曲
ラブソディ・イン・ブルー (ピアノ 小林 恵子)
ラ・ラ・ランド ほか

入場無料

※任意による寄付方式

2019/6/15 [土] 13:30開演 12:50開場

カルッツかわさき ホール



- 駐車場は駐車台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。
- 未就学児童の入場はご遠慮いただいております。
- 入場の際にチケット・整理券等は必要ございません。(自由席)
- 満席の場合は入場をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ソニー吹奏楽団ウェブサイト <http://www.sonyband.jp/>

ソニー吹奏楽団 検索

お問い合わせ(ソニー吹奏楽団事務局)

メール rc55@sonyband.jp

電話 090-4450-1398(担当:おごま)

会場へのアクセス

JR「川崎駅(北口東)」・京急「京急川崎駅」より徒歩約15分

川崎駅東口バスターミナルより乗車約5分「教育文化会館前」下車すぐ

当日、会場ロビーに募金箱を設置いたします。皆様の善意は、ソニー株式会社と公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが設立した「子どものための災害時緊急・復興ファンド」に寄付され、今後の災害発生時の緊急・復興支援に役立てられます。



Save the Children

テネラメンテ

フィルハーモニー管弦楽団

第4回定期演奏会

指揮

須藤 裕也

ドビュッシー

牧神の午後への前奏曲

シベリウス

交響曲第7番

チャイコフスキー

交響曲第5番

6/16 日曜日

開場 13:30 開演 14:00

武蔵野市民文化会館 大ホール

テネラメンテフィルハーモニー管弦楽団



テネラメンテフィルハーモニー管弦楽団は、2016年に結成されたオーケストラです。

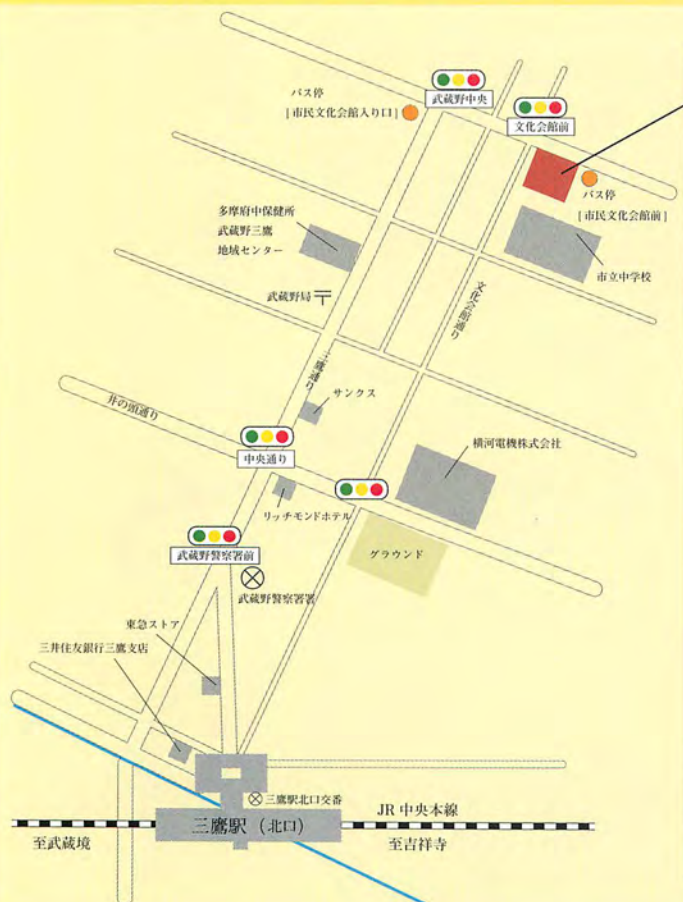
お茶の水管弦楽団、東京大学音楽部管弦楽団、東京慈恵会医科大学音楽部管弦楽団、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団、横浜国立大学管弦楽団など東京近郊のさまざまな団体からの出身者により構成されています。それぞれの演奏者の良さを生かしつつ、一つの方向性を持った演奏を目指しています。

“teneramente”とはイタリア語で「愛情をもって、やさしく」という意味の言葉で、取り上げる曲や作曲家に愛を持って接していくことで、いろいろな曲の良さを引き出していこうという想いがこもっています。



常任指揮者 須藤 裕也

1994年東京生まれ。指揮法を若宮裕、トランペットを中澤孝之、杉山真彦の各氏に師事。ウィーン国立音大の湯浅勇治氏による指揮セミナーに参加。慶應義塾大学文学部西洋史学専攻卒業。小学生の頃からピアノ、チューバ、トランペットやヴァイオリンなど様々な楽器を独学で演奏し、高校在学中にオーケストラの指揮者としての活動を開始。大学では近世ドイツ史を研究する一方で音楽理論や和声法、楽曲分析の手法を学び、所属していたお茶の水管弦楽団の学生指揮者として研鑽を積む。独逸系の音楽に造詣が深く、高校OBによるマグノリアオーケストラ、お茶の水管弦楽団の弦楽器セクションによる演奏会「茶弦」などで指揮者を務め、2017年に長野県松本市にて行われた第2回メモリアルイヤー作曲家演奏会ではエルガーの交響曲第1番を指揮するなど、広く活動している。2016年に仲間たちと「どの楽曲に対しても愛情をもって向き合っていきたい」という理念のもとテネラメンテ・フィルハーモニー管弦楽団立ち上げに関わり、常任指揮者として活動している。



会場

武蔵野市民文化会館 大ホール

〒180-0006 東京都武蔵野市中町3-9-11

アクセス

JR「三鷹駅」から

徒歩 13分

バス 1番もしくは2番乗り場から乗車
「市民文化会館入口」下車 徒歩2分

- ・未就学児の入場はご遠慮いただいております
- ・車いすをご利用の方は当日受付にてお申し出ください
- ・十分なお席を用意しておりますが、万が一満席の際はご入場いただけない場合がございます
- ・駐車場は駐車台数に限りがございますので、ご来館には公共交通機関をご利用ください



tenephil.jp



@TeneramentePhil



@TeneramentePhil



@tene_phil

32ND KANTO MEDICAL STUDENTS ORCHESTRA FESTIVAL

ラフマニノフ 交響曲第2番

ヒンデミット
ウェーバーの主題による
交響的変容

芥川也寸志
交響管弦樂の為
の音楽

指揮 白谷 隆

第32回
関東医科学生
オーケストラフェスティバル

2019.6.22(土)
文京シビックホール 大ホール

開場13:30 開演14:00

入場無料 全席自由

東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅(5出入口)直結
都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅(文京シビックセンター連絡口)直結
JR中央・総武線水道橋駅(東口)徒歩約13分

お問い合わせ
haruoke3254@gmail.com
公式SNS <https://twitter.com/haruoke32>
HP <http://haruokehp.com/>
関東医科学生オーケストラ連盟 広報 竹田 早希

主催 関東医科学生オーケストラ連盟
後援 日本医師会 東京都看護協会 読売新聞社 文京区

大田フィルハーモニー管弦楽団 第11回定期演奏会



喜歌劇「こうもり」序曲 (J. シュトラウスⅡ世)
ヴァイオリン協奏曲第2番
「スペイン交響曲」(ラロ)
交響曲第41番「ジュピター」(モーツァルト)

指揮：河原 哲也

ヴァイオリン独奏：對馬 佳祐

2019年6月22日(土)

14:00開演(13:15開場)

大田区民ホール・アプリコ大ホール

入場料：¥1,000

Access >> JR京浜東北線、東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口…徒歩3分
京浜急行線「京急蒲田駅」西口…徒歩7分

70歳以上の方は入場無料 / 大田区在住の方は500円(証明できるものをご持参ください)

お問い合わせ・チケットのお求めはメールで concert@otaphil.org までご連絡下さい(事務局 Tel: 090-1204-4020)

【チケット代金の振込先】郵便為替口座 00110-4-537920 大田フィルハーモニー管弦楽団

※ご入金の際、お名前・電話番号・ご住所・ご希望枚数をご記入ください ※振込手数料は、お客様にてご負担ください

※未就学児のご同伴入場はご遠慮ください

大田フィルハーモニー管弦楽団 WEB >> <http://otaphil.org>

後援：大田区

PHILHARMONIC CHORUS the 7th CONCERT

BEETHOVEN

フィルハーモニック・コーラス第7回演奏会

速報版

MISSA SOLEMNIS

ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」

2019

6/30 日

開演 15:00 (開場 14:00)

大田区民ホール・アプリコ
大ホール

JR京浜東北線 東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分
京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分

指揮 河地良智

管弦楽 フィルハーモニック・コーラス管弦楽団

合唱 フィルハーモニック・コーラス

チケット 全席自由 2,000円

ご購入フォーム <http://ph-ch.com/7thconcert/>

MAIL ticket@ph-ch.com

各種プレイガイドでも販売いたします

・未就学児の入場はご遠慮ください
・車椅子での入場をご希望の方はあらかじめ主催者までご連絡ください



PHILHARMONIC
CHORUS

主催 フィルハーモニック・コーラス

MAIL info@ph-ch.com

TEL 090-4170-9414(代表)

合唱団員募集中!

詳しくはWEBサイトをご覧ください
<http://ph-ch.com/>

協賛 大田区

最晩年(54歳)の「第九」と共に発表された、人類史上の最高傑作



ベートーヴェン「ミサ・ソルムニス」(往歳ミサ曲)

ベートーヴェンが「最も完成された曲」であり、このチランジのオモテ面の有名な肖像画でその手に持っている楽譜に「Missa Solemnis」の文字が見受けられることなどからも、彼自身が生涯の集大成として大切にしていた曲であることがかかえます。冒頭に「心より出で——願わくば、再び心に入らんことを」と記されたこの曲は、澄み渡った管弦楽の響きに誘われた声楽ソロと合唱の祈りの呼吸によって始まります。その後、晩年のベートーヴェン特有の宇宙的なスケール感をもって合唱と管弦楽が怒濤の盛り上がりを見せたかと思えば、声楽ソロ、バイオリンソロによって心に迫る美しいメロディがたつぷりと歌われ、やがてすべては調和へと導かれます。その様子は、降りかかる幾多の苦難に立ち向かって生き抜いたベートーヴェンの理想と信念を体現するものであり、今を生きる私たちの誰をも力強く励ましてくれます。

指揮 河地良智 かわちよしのり

神戶学院大学指揮科に学び、高藤秀雄、秋山和徳の両氏に師事。1973年、第3回民音指揮コンクール(現東京国際指揮コンクール)で奨励賞受賞。二期会オペラや定期公演などで、W.サウワグワヅユ氏、O.スヤホナー氏等の副指揮者を務め、1975年、群響正指揮者に就任。1983年より文化庁海外派遣員としてドイツ、ベルリン国立歌劇場でW.サウワグワヅユ氏、ミラノスカラ座でピオリス氏等について指揮術に、歌劇場での研鑽を積む。帰国後、日・米・伊共同国際オーケストラにおいて「蝶々夫人」のメソッドや版を初演。二期会渡辺旅行公演同様の際には、オケラート・フカ、ハンカリ一国立歌劇場管弦楽団を指揮する。音楽之友社の企画する「モーツァルト・オヘア全曲シリーズ」21曲全曲の音楽監督、指揮者を務める。国際交流でも力を注ぎ、それぞれの貢献により、北京市中日交流センター、オーケストラ・フルゲント州、藤早市より文化特別賞等を受ける。洗足学園音楽大学教授、同大学音楽学部長、東京藝術大学講師を経て、2011年より洗足学園音楽大学副学長、同大理事長、同大学名誉教授を歴任する。また、音楽国際交流やクラシック音楽の普及、後進の指導にも力を注いでいる。

第1回演奏会より指揮・音楽監督として共演。

管弦楽 フォルナーモニック・コーラス管弦楽団

※出演情報 (声楽ソロ、バイオリンソロ) と追加演目 (管弦楽曲) につきましては追って下記の合唱団WEBサイトにお知らせいたします。(2018年12月現在)

偉大な合唱作品の豊かな魅力と可能性を信じて、「夢・希望・行動力」をモットーに、ベートーヴェンの「苦難を通して歓喜に至れ」「誰からも飛べぬ精神」に基づいて音楽を追求し、一歩でも音楽の神髄に近づくことを目的として活動している。2019・304を中心とその輪を広げ、多くの音楽未経験者の仲間と共に、2011年よりオーケストラとのコンサートを回し主眼。

主催・合唱 フォルナーモニック・コーラス

団員募集 -最初はみんな、初心者です-

楽器が読めなくてもOK、ゼロからはじめた先輩団員多数の合唱団ですので、初めて音楽づくりに取り組む方の疑問や悩みには寄り添い、しっかりサポートします。何度か練習を体験して頂きますので初回の見学はどうぞお気軽にお申し込みください。一同、心よりお待ちしております！

練習会場

松沢区民集会所

(京王線/世田谷線「下高井戸」徒歩4分)

他、世田谷区公共施設にて

主に京王線・小田急線・田園都市線沿線

※WEBサイトに各回の案内があります

練習日

毎週水・土曜日

(水)19:00~21:00

(土)18:30~21:00

※練習後15分のミーティングがあります

会費

学生 2,000円

社会人 3,000円

※初月無料 ※入団費無料

※別途、楽器代がかかります

見学のお申込み・合唱団詳細

合唱団 WEBサイト

<http://ph-cn.com/>



2006. 6 創設

第1回演奏会 ベートーヴェン「ミサ・ソルムニス」より「グローリア」抜粋

2010. 3 ヴェルディ「行け、想いよ金色の翼に乗って」モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルパス」他

2011. 10 第2回演奏会 ハイドン「天地創造」

2013. 5 第3回演奏会 ベートーヴェン「合唱幻想曲」モーツァルト「レクイエム」

2014. 10 第4回演奏会 ビゼー「テ・デウム」

2016. 2 第5回演奏会 フッチーニ「グローリア・ミサ」

2017. 9 第6回演奏会 ベンツレル「2世のための戴冠式アンセム」

2017. 9 第7回演奏会 ベートーヴェン「交響曲第9番<歓喜>」

2017. 9 第8回演奏会 ベートーヴェン「合唱幻想曲」(再演)

2017. 9 第9回演奏会 ベートーヴェン「交響曲第2番<讃歌>」

2019. 6.30 SUN

ベートーヴェン「ミサ・ソルムニス」

開演 15:00 (開場 14:00)



大田区民ホール・アトリコ 大ホール

〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目87-3

●東急多摩川線「池上線」

●JR京浜東北線「蒲田駅」東口から徒歩約3分

●京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分



これまでの演奏会の録音は、その一部をYouTubeで公開しております。下記合唱団WEBサイトにリンクがございます。

プレミアム・ウィークデー・オーケストラ
第2回 定期演奏会

2019年10月4日(金) 開場18:30 開演19:00

狛江エコルマホール 小田急線狛江駅北口徒歩1分
東京都狛江市元和泉1-2-1

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

モーツァルト / 「魔笛」序曲 K.620

モーツァルト / セレナーデ第6番 ニ長調 K.239

「セレナータ・ノットウルナ」

ベートーヴェン / 交響曲第7番 イ長調 Op.92

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

指揮 / 石川智己(音楽監督・常任指揮者)

管弦楽 / プレミアム・ウィークデー・オーケストラ

チケット(全席自由) / 一般: ¥1,000- 小学生未満: 無料

※4歳未満の幼児の入場はご遠慮ください

チケット発売開始 / 2019年7月1日 —— お求めは

♪エコルマホール / (一財)狛江市文化振興事業団5F事務所(窓口販売のみ)

♪当団へ直接お申込みの方は以下お問合せ先にお申込みください

お問い合わせ先: premiumwo@gmail.com

当団Webサイト: <http://premiumwo.grupo.jp/>

主催 / Premium Weekday Orchestra



Premium Weekday Orchestra

since 2018

私たちは「平日の日中」に練習・活動する新しいタイプのオーケストラです

団員募集中! (裏面をご覧ください)

音楽監督・常任指揮者

石川智己 (Tomoki Ishikawa)



©村井佳史

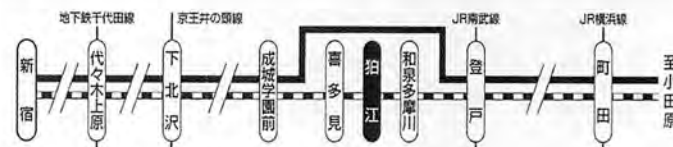
1976年東京生まれ。6歳よりヴァイオリンを始める。東京都立戸山高校でオーケストラを始め、独学で指揮を始める。国際基督教大学で音楽学を専攻し、ICU CMS管弦楽団で3年間学生指揮者としても活動。同大在学中には大田区文化振興協会主催「アプリコ大学オーケストラフェスティバル1999」ならびに「同2000」の大学合同オーケストラにインスパイアとして参加。フェスティバル終了後、参加メンバーを中心に「アプリコシンフォニーオーケストラ」を設立。2009年春まで副団長として同オーケストラを音楽的に支えてきた。その後東京音楽大学指揮科にて2年間指揮を学ぶ。2007年末にInternational Joint Concert Orchestra (IJCO) ドレスデン公演においてベートーヴェンの第九をドレスデン・ルカ教会で指揮したのを始めとし、2011年末のIJCOリユーネブルク公演まで指揮、いずれも好評を博す。また、旭川の北日本フィルハーモニー管弦楽団と共に、2008年の第20回定期演奏会の「ピーターと狼」を皮切りに、毎年主に協奏曲を中心に定期演奏会で指揮し、いずれも好評を博す。2009年には、母校ICUのCMS管弦楽団の「メンデルスゾーン生誕200年記念ドイツ演奏旅行」の指揮者として招聘され、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスならびにハンブルク・カタリーネン教会での演奏会を好評のうちに終了。また、2010年に若手演奏家と共にOrchestra d'amore を設立し、音楽監督に就任。2007年よりIJCO音楽監督を、2008年よりジョイントコンサート国際委員会の音楽監督を2012年まで務めた。退任後、IJCOの趣旨を引き継ぎ、国内外での音楽交流を主たる目的とする、これまでにない常設の専集型オーケストラとして、Traum Symphoniker (トラウム シンフォニカー) を設立した。指揮活動の傍ら(公財)大田区文化振興協会、ジョイントコンサート国際委員会、いわき芸術文化交流館アリオスに勤務するなど演奏会や国際交流事業の企画、運営等にも精通している。現在、Traum Symphoniker音楽監督、Premium Weekday Orchestra音楽監督・常任指揮者を務める他、音楽情報サイト「オケ専♪」主催の本音のない「平日午後のオーケストラ」の指揮者を務める。

指揮を井崎正浩、岡田司、広上浮一、ヴァイオリンをカルロ・コンタリーニ、村尾尚己、音楽学を金澤正剛、伊東辰彦、音楽全般を後藤悠仁、島田一夫の各氏に師事。

交通のご案内



- ◆お車で越しの場合は狛江駅北口・地下駐車場をご利用ください。(有料30分 200円より・朝7時～深夜2時)
- ◆自転車でお越しの場合は小田急高架線下等の駐輪場をご利用ください。(有料1日 150円～)



- ◆小田急線をご利用の場合……(各停 〰〰〰 急行 〰〰〰)
・新宿から約30分(成城学園前で各停乗換え) ・登戸から各停で約5分
- ◆バスをご利用の場合……調布駅から約20分(狛江駅北口下車)

We are seeking colleagues to join our Orchestra!

団員募集中!

プレミアム・ウィークデー・オーケストラでは、一緒に「音楽する」仲間を募集しています。

当面はチェンバーオーケストラ編成のため、古典派～ロマン派を中心とした選曲を行い、定期演奏会を目指します。

私たちオーケストラの趣旨は次の通りです。

1. 「平日の日中に練習時間を設定」し活動します。これにより、土日休日を練習日とする多数のアマチュアオーケストラへは入団・参加が難しい勤務形態が平日休みの社会人や主婦への参加要望にも応えることができます。そして、特に学生時代オーケストラ経験者や、個人でしか楽器を弾く場がない方にもオーケストラ・アンサンブルに触れていただける場を提供します。
2. 音楽監督指導による質の高い音楽を追求、参加意欲の持てる練習を行います。
3. 団内にて管楽器や弦楽器の各アンサンブルも編成し、団員相互のコミュニケーションを大切にします。
4. 平日夜(もしくは日中)に定期演奏会を開催し、存続します。

募集中のパート・入団希望やお問合せは、Webサイト内「団員募集」ページをご覧ください。

当団アドレスまでメールにてお待ち致しております。

お問い合わせ先: premiumwo@gmail.com

当団Webサイト: <http://premiumwo.grupo.jp/>



Premium Weekday Orchestra

ÖT FILHARMONIKUS ZENEKAR

エト・フィルハーモニクス・ゼネカー 第3回特別演奏会

組曲「展覧会の絵」
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)

交響曲第5番 変ホ長調 Op.82
チャイコフスキー

序曲「1812年」 変ホ長調 Op.49
チャイコフスキー

指揮：鈴木啓資
コンサートマスター：白石彩音

2019. **0511** (土)
18:00 開場 18:30 開演

大田区民ホール・アトリコ 大ホール
(JR京浜東北線蒲田駅東口から徒歩3分)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット 500円 / 全席自由

チケットご希望の方は、お名前とご希望枚数を明記の上、下記メールアドレスにご連絡ください。
連絡先(広報)：fiveorche_recruit@outlook.com

チケットぴあでもチケット発売中！

チケットぴあ
PJコード：146507



エト・フィルハーモニクス・ゼネカー

エト・フィルハーモニクス・ゼネカー(Öt Filharmonikus Zenekar)は、全5回の演奏会で交響曲5番を演奏するというコンセプトのもと、2016年に立ち上げられたアマチュアオーケストラです。ハンガリー語で"Öt"は"5"、"Zenekar"は"オーケストラ"という意味です。

これは指揮者の留学先の言語を用いて、前述したコンセプトに由来した団名となっております。
<http://etphil.wixsite.com/main1>



https://twitter.com/five_orchestra



<https://www.facebook.com/etfilharmonikus/>



指揮

鈴木 啓資

Keishi Suzuki

静岡県島田市出身。静岡県立藤枝東高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、ハンガリー政府給費奨学生として、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学(リスト音楽院)ピアノ修士課程を首席卒業。また、大学3年次に大学より短期留学奨学金を得て、フィンランドのシベリウス音楽院に留学。

2017年、リストの世界的権威であるLeslie Howard氏が審査委員長を務めるThe Liszt Society International Piano Competition(イギリス)にて優勝。氏に音楽性と才能を認められた。この優勝をはじめとし、国内外の様々なコンクールにて受賞を重ねている。

また、指揮者としての活動もしており、その指揮によって作り出される音楽は好評を得ている。指揮活動の中でも、とりわけ弾き振りには特に力を入れており、積極的に取り組んでいる。

2018年3月に、ハンガリーで録音された、自身のデビューアルバム「Memories from Eastern Europe」を発売。国内外の批評家より好評を得ている。

現在、東京音楽大学大学院博士後期課程1年に在籍中。同大学院ティーチング・アシスタント。ピアノを村上隆、ガーボル・ファルカシュの各氏に、指揮を野口芳久氏に師事。論文指導を村田千尋氏より受ける。ハンガリーでの留学を活かし、ハンガリーの作曲家・ピアニスト・指揮者のErno Dohnanyi についての研究を行っている。

ピアノおよび指揮活動を活発に行うとともに、後進の育成にも力を入れている。甲斐清和高等学校音楽科ピアノ講師。平成30年度島田市芸術文化奨励賞を史上最年少で受賞。

コンサートミストレス

白石 彩音

Ajune Shiraiishi



山梨県出身。東京音楽大学卒業。

鈴木啓資氏率いるエト・フィルハーモニクス・ゼネカーにて協奏曲のソリストならびにコンサートミストレスを、アルディフィルハーモニー管弦楽団にてコンサートミストレスを務める。

オーケストラとの協奏曲の共演では、ソリストとして圧倒的な存在感を示し、聴衆から絶賛された。またコンサートミストレスとしては、オーケストラを引っ張るエネルギーと高い技術に裏付けされた豊かな音楽性によって、他の奏者や指揮者から信頼を得ている。

第1回富士と緑の音楽祭聴衆賞受賞。

バイエルン州立青少年オーケストラの研修・ヨーロッパ演奏旅行、東京フィルハーモニー交響楽団ネバーランド・オーケストラの夢の共演プロジェクトや、日本スペイン交流400周年記念コンサートに参加。

自身がプロデュースした弦楽五重奏Petit Quintetでは、東京ディズニーリゾートMUSIC FESTIVAL PROGRAMに2年連続出演。また、日本フィルハーモニー交響楽団の楽器体験スタッフや、音楽教室、Jr.オーケストラの講師を務める。

現在、ソロ、室内楽、オーケストラなどの演奏活動の傍ら、自身のヴァイオリン教室を設立・運営し、また、オーディション等に審査でかかわるなど、後進の指導にも力を入れている。